

四万十市の若者支援に関する
ニーズ調査

結果報告書

令和7年12月

□ ■ 目 次 ■ □

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収の状況	1
4. 報告書のみかた	1
調査結果	2

調査の概要

1. 調査の目的

少子化対策・子育て支援の重要性がより高まっていることから、【こども】【若者】【家庭】に対して、これまで以上に寄り添った支援の取り組みが実施できるように、国のこども大綱の方針に則った「四万十市こども計画」を今年度策定いたしました。

計画に示した方針に基づき、若者の生活支援、結婚支援の取り組みを強化したいと考えており、そのために令和6年7月1日時点で市内に在住の20代から40代の方々の「現在の状況」や「今後の希望」などを把握したく、ニーズ調査を実施することとしました。

2. 調査の方法

調査の時期	令和7年2月28日～令和7年4月4日
調査対象者	令和6年7月1日時点で市内在住の20代～40代(昭和49年4月2日～平成16年4月1日生まれの者)のうち、各年代の男女各500人
調査方法	Webアンケート

3. 回収の状況

配布数	回収数	有効回収率
3000票	702票	23.40%

4. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

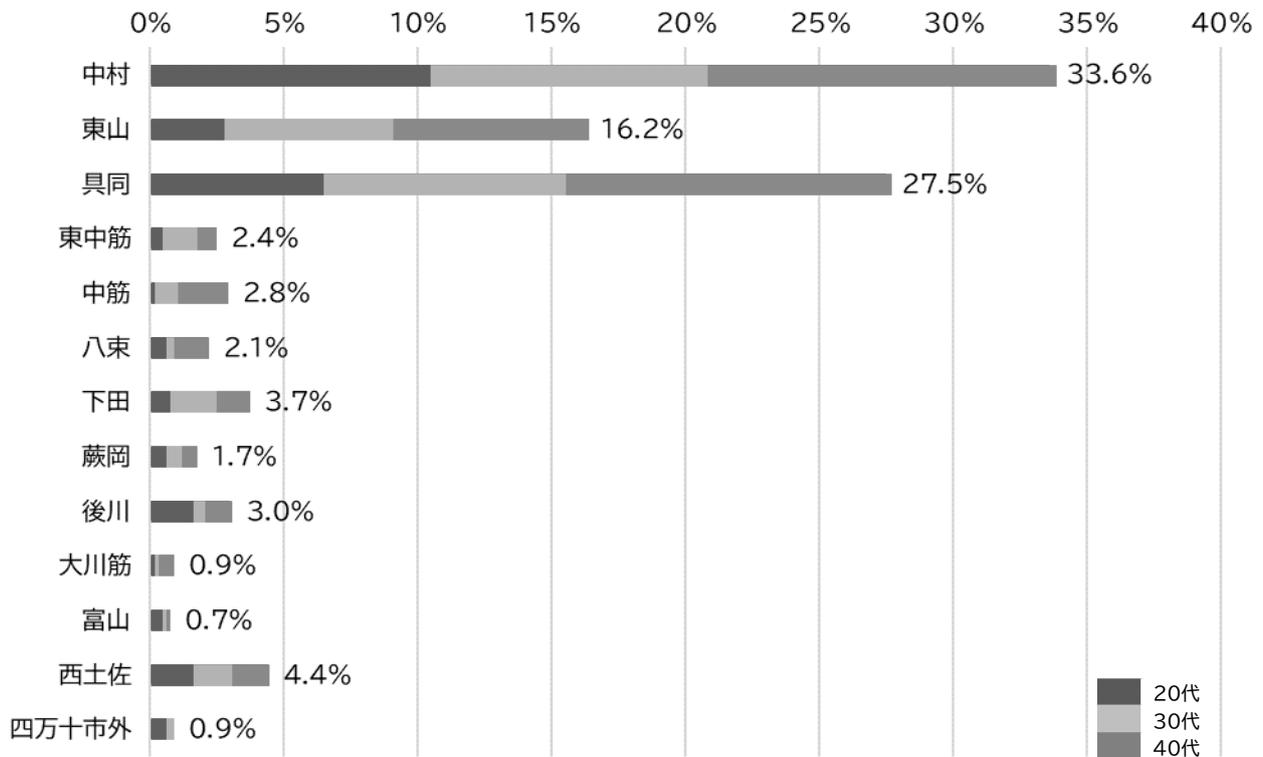
○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。

○百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

調査結果

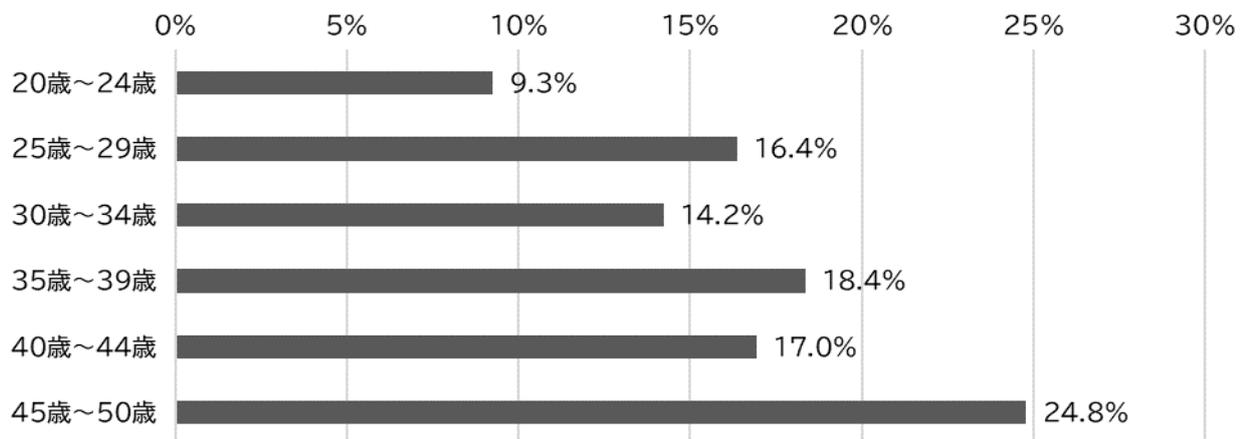
問1 お住まいの地区はどこですか。(選択は1つ)

「中村」が33.6%と最も多く、次いで「具同」が27.5%、「東山」が16.2%となっています。



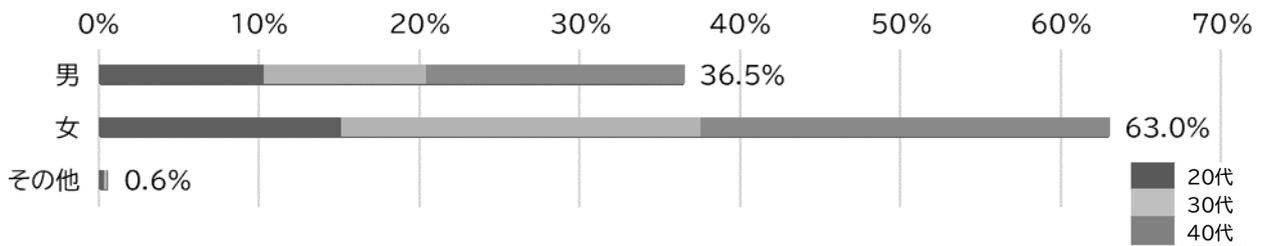
問2 あなたの年齢をお答えください。(選択は1つ)

「45歳～50歳」が24.8%と最も多く、次いで「35歳～39歳」が18.4%、「40歳～44歳」が17.0%となっています。



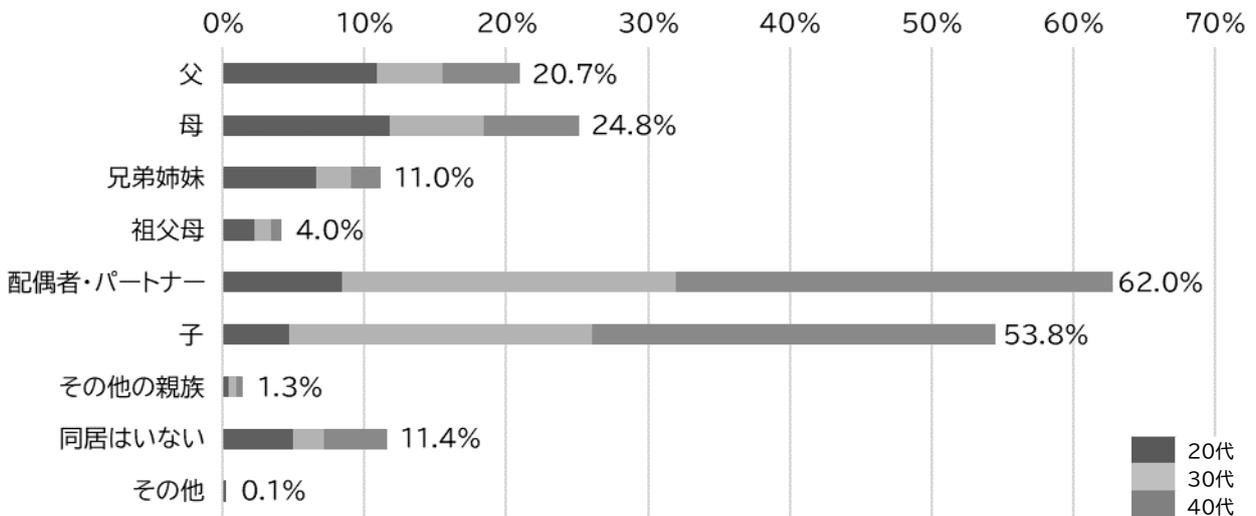
問3 あなたの性別をお答えください。(選択は1つ)

「女性」が63.0%と最も多く、次いで「男性」が36.5%、「その他」が0.6%となっています。



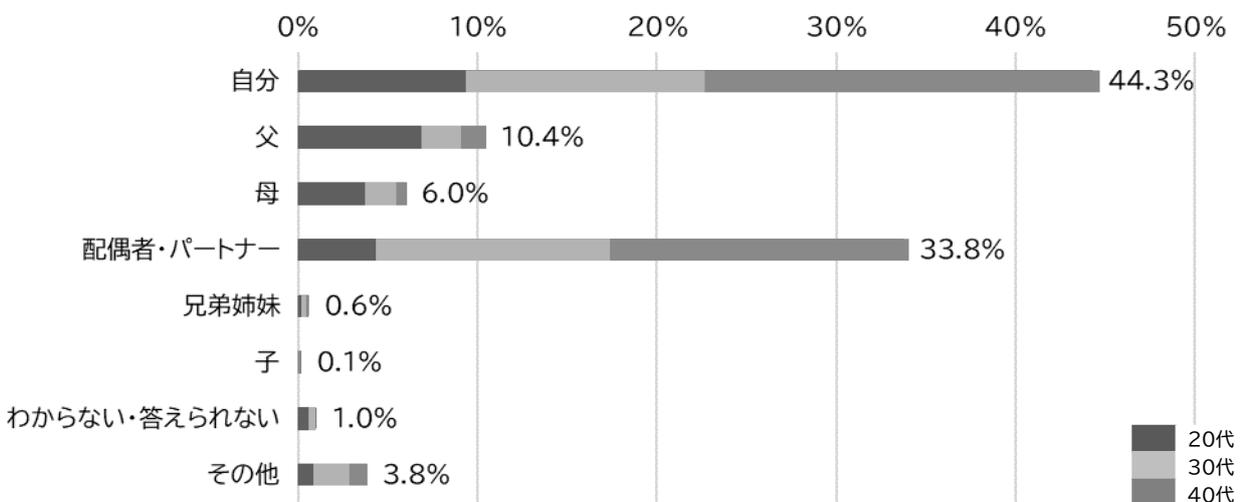
問4 あなたと同居している方をお答えください。(選択はいくつでも)

「配偶者・パートナー」が62.0%と最も多く、次いで「子」が53.8%、「母」が24.8%となっています。



問5 あなたの家の生計を支えているのは主にどなたですか。仕送りで生計を立てている方はその仕送りをしてくれている人をお答えください。(選択はいくつでも)

「自分」が44.3%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が33.8%、「父」が10.4%となっています。

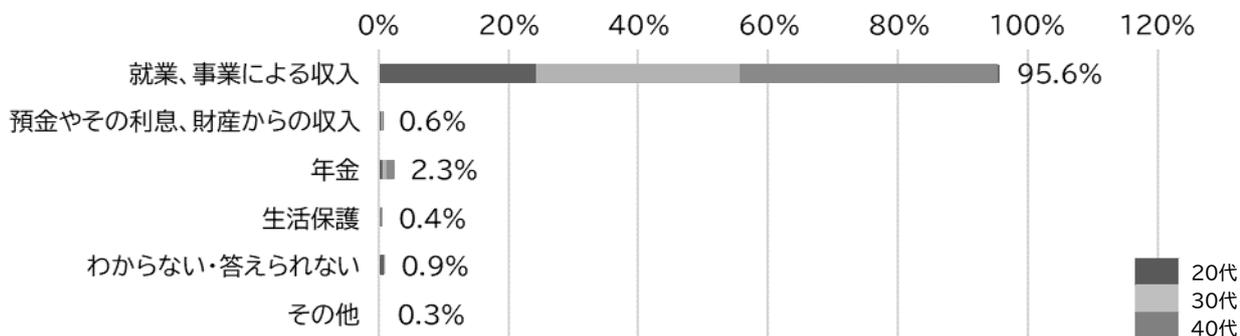


●その他

自分と配偶者・パートナー、自分・父、自分・母、自分・妹、義弟、自分・同居人、両親、祖父母、おば、全員

問6 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(選択は1つ)

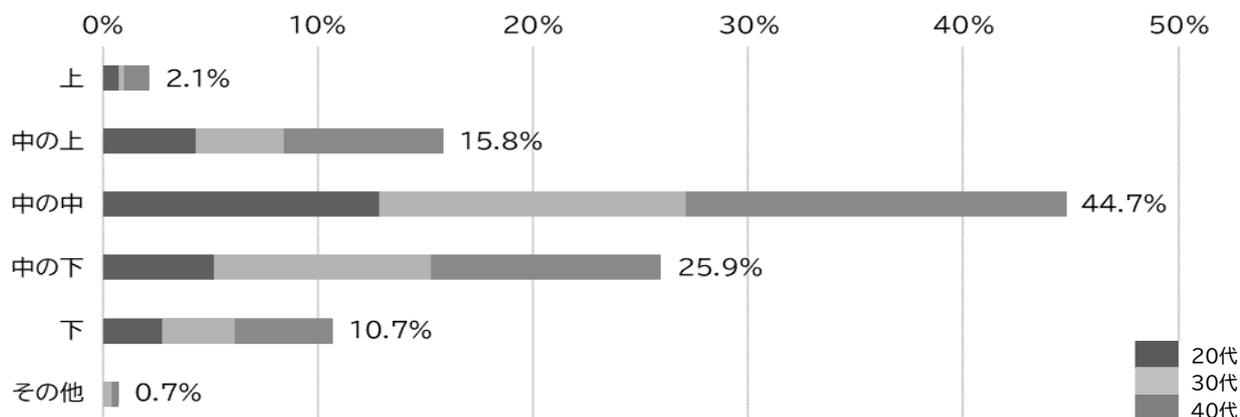
「就労、事業による収入」が 95.6%と最も多く、次いで「年金」が 2.3%、「わからない・答えられない」が 0.9%となっています。



●その他
 大家、就労・育休手当

問7 あなたの暮らしは、世間一般と比べてどれにあたるとお考えですか。あなたの実感でお答えください。(選択は1つ)

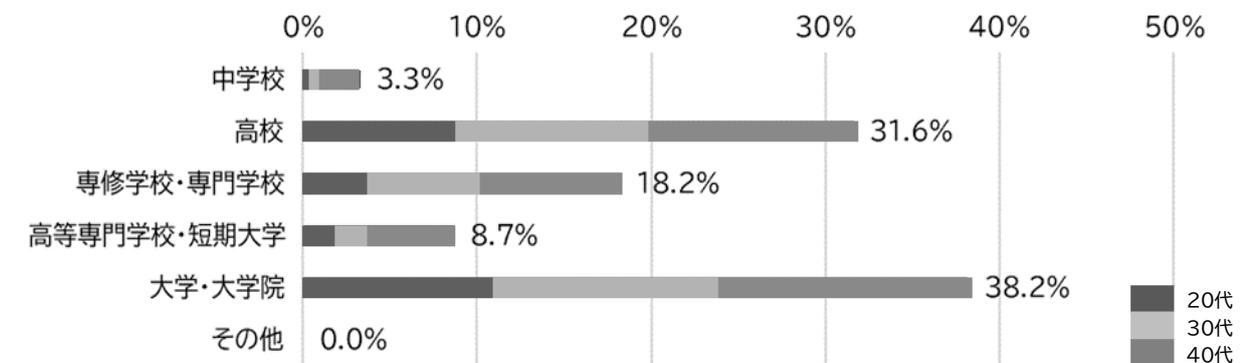
「中の中」が 44.7%と最も多く、次いで「中の下」が 25.9%、「中の上」が 15.8%となっています。



●その他
 下の下、下の下の下、生活保護、所得は低いが困ったら助けてくれる親族がいる
 人と比べるような質問には答えたくない

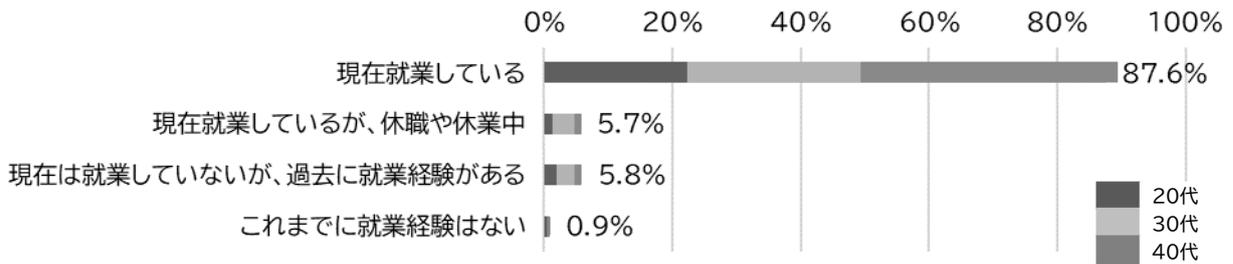
問8 あなたの最終学歴はどこですか。在学中の方は現在在学の学校をお答えください。(選択は1つ)

「大学・大学院」が 38.2%と最も多く、次いで「高校」が 31.6%、「専修学校・専門学校」が 18.2%となっています。



問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトも含む)(選択は1つ)

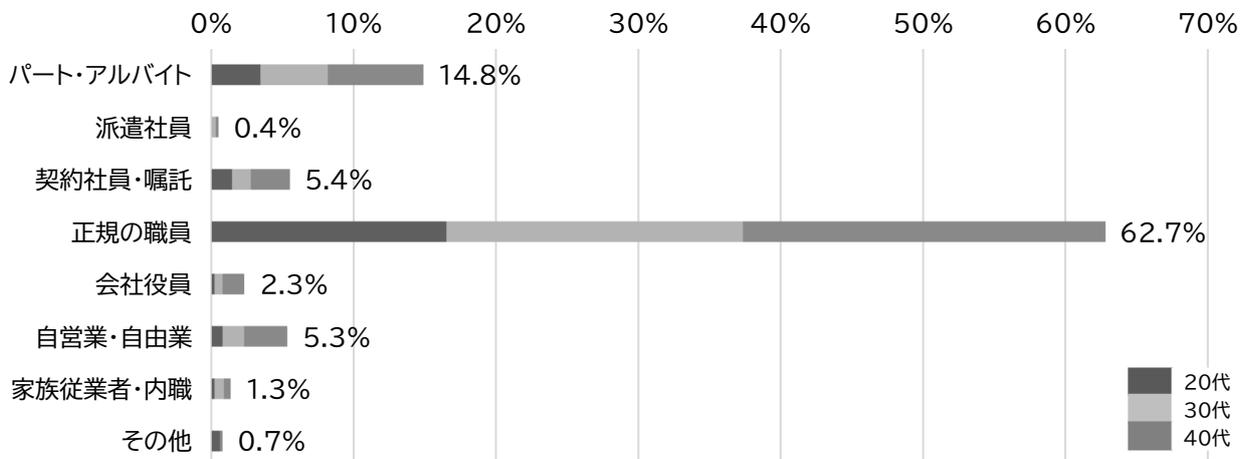
「現在就業している」が87.6%と最も多く、次いで「現在就業していないが、過去に就業経験がある」が5.8%、「現在就業しているが、休職や休業中」が5.7%となっています。



(問9で「現在就業している」「現在就業しているが、休職や休業中」と回答した方)

問9-1 あなたの仕事をお答えください。(選択は1つ)

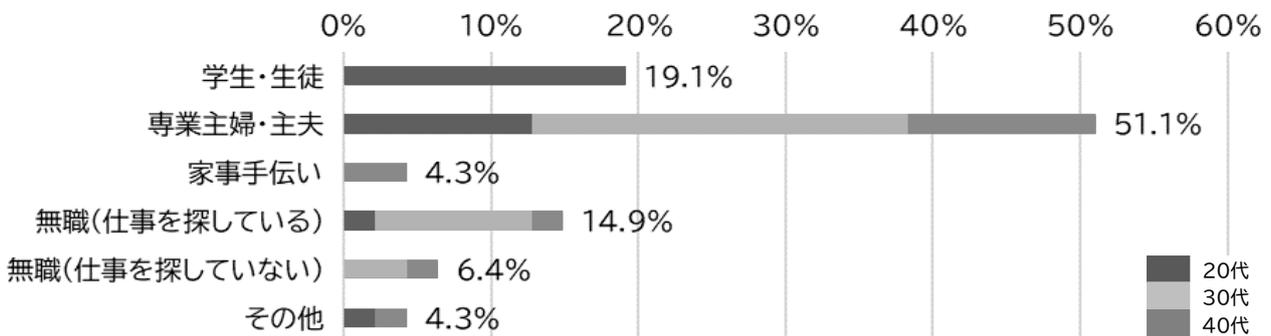
「正規の職員」が62.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が14.8%、「契約社員・嘱託」が5.4%となっています。



(問9で「現在就業していないが、過去に就業経験がある」「これまでに就業経験はない」と回答した方)

問9-2 あなたの仕事をお答えください。(選択は1つ)

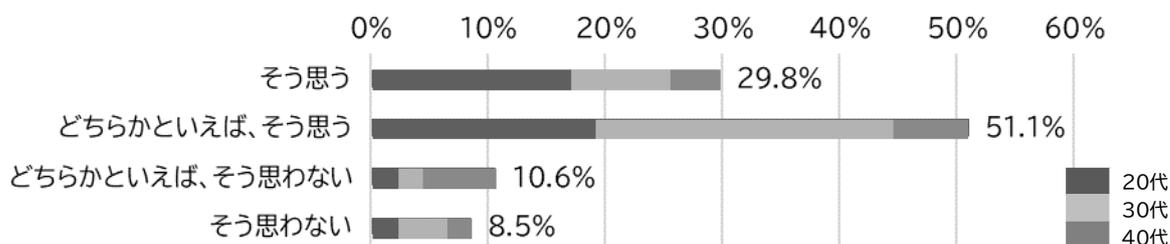
「専業主婦・主夫」が51.1%と最も多く、次いで「学生・生徒」が19.1%、「無職(仕事を探している)」が14.9%となっています。



●その他
農業

問9-3 あなたは今幸せだと思いますか。(選択は1つ)

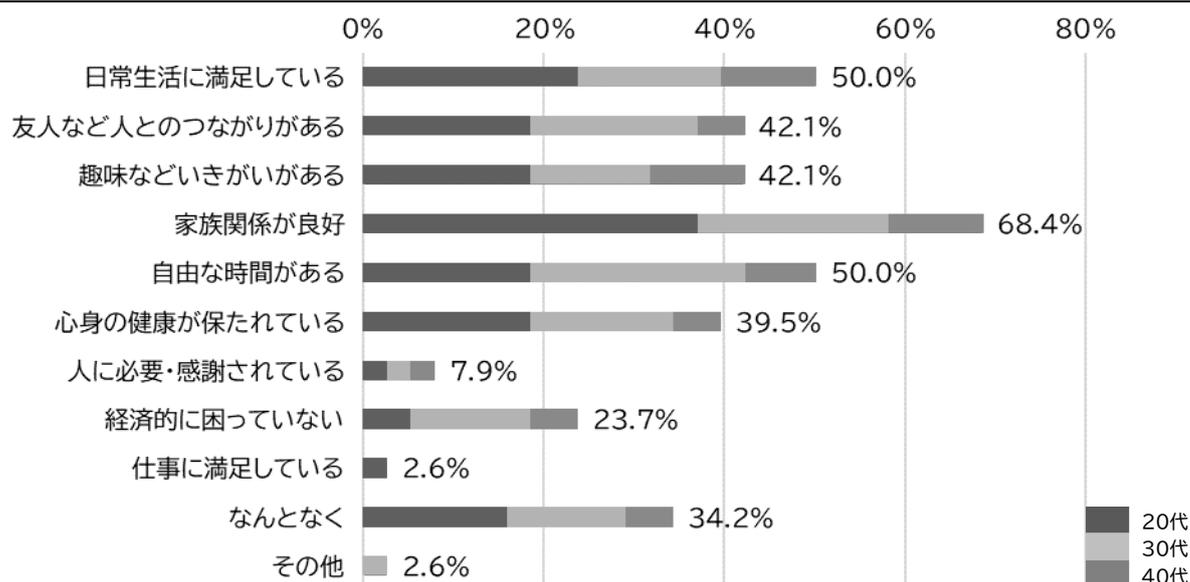
「どちらかといえば、そう思う」が51.1%と最も多く、次いで「そう思う」が 29.8%、「どちらかといえば、そう思わない」が 10.6%となっています。



(問9-3で「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した方)

問 9-3-1 あなたが今幸せだと思う理由を選んでください。(選択はいくつでも)

「家族関係が良好」が 68.4%と最も多く、次いで「日常生活に満足している」「自由な時間がある」が 50.0%となっています。



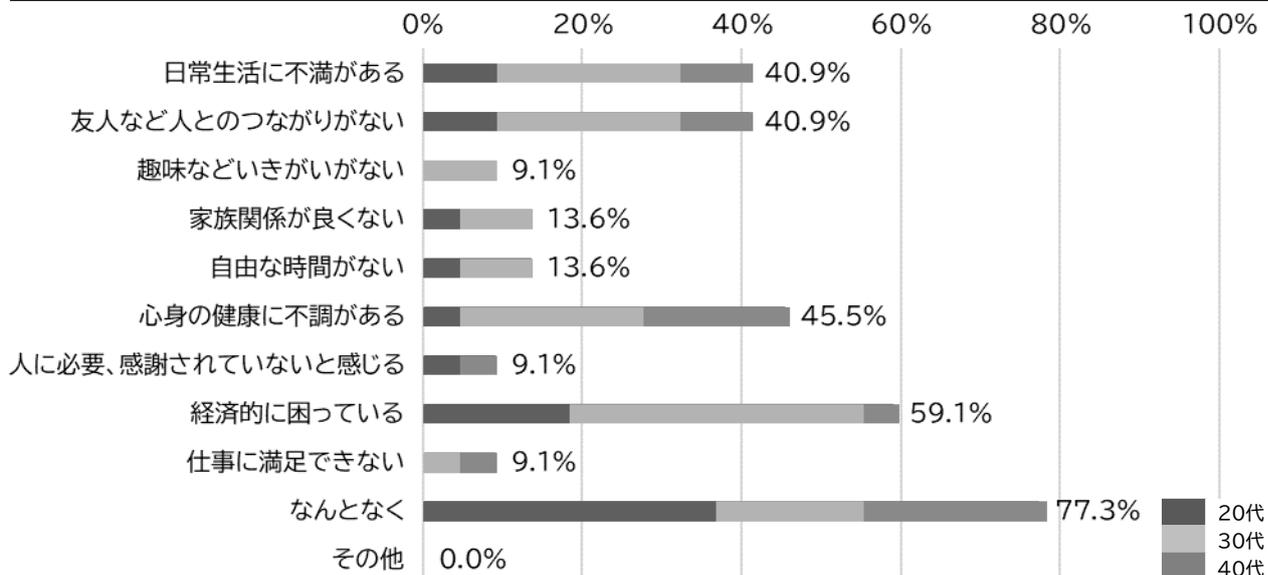
●その他

いい家族に恵まれている

(問9-3で「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した方)

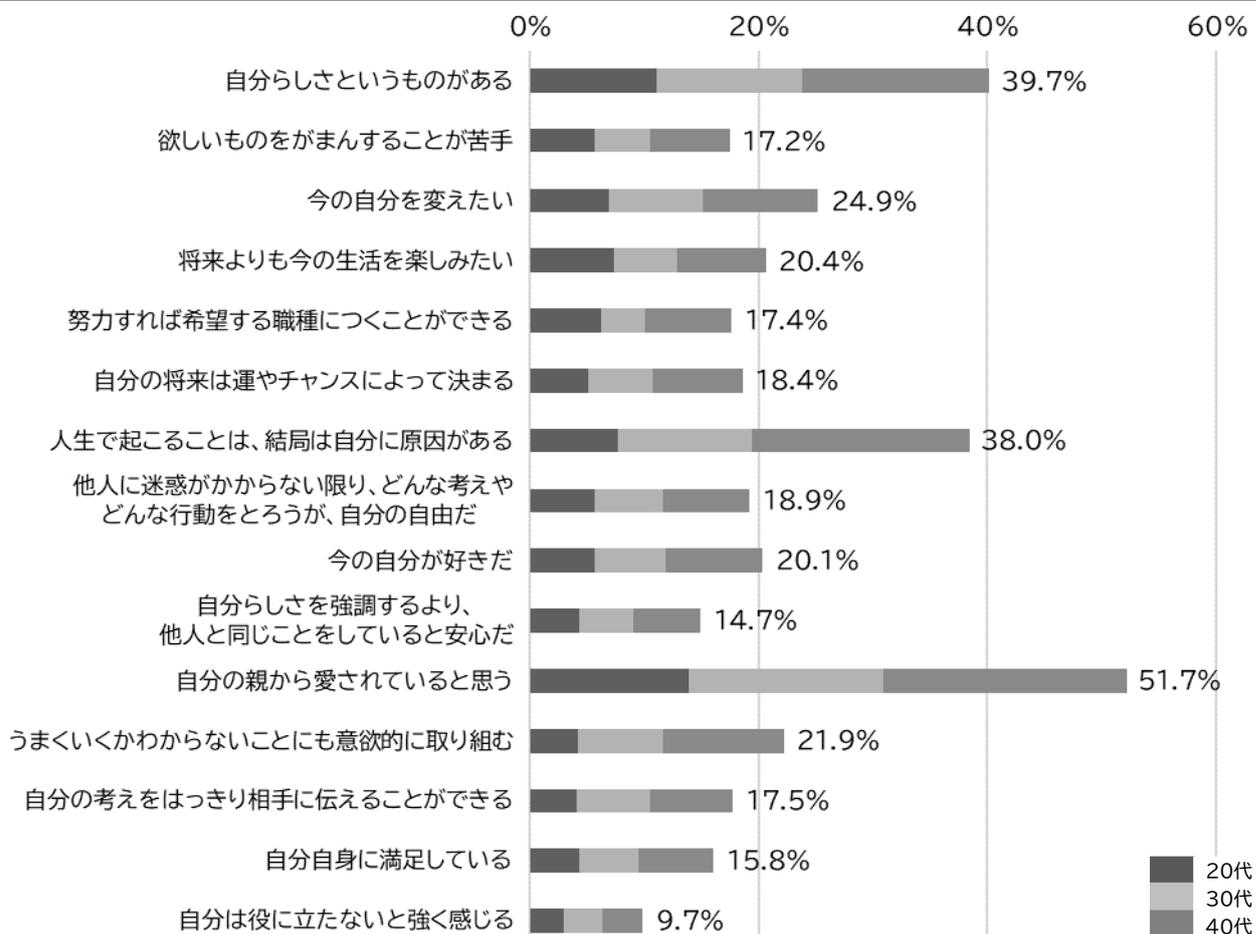
問 9-3-2 あなたが今幸せだと思わない理由を選んでください。(選択はいくつでも)

「なんとなく」が 77.3%と最も多く、次いで「経済的に困っている」が 59.1%、「心身の健康に不調がある」が 45.5%となっています。



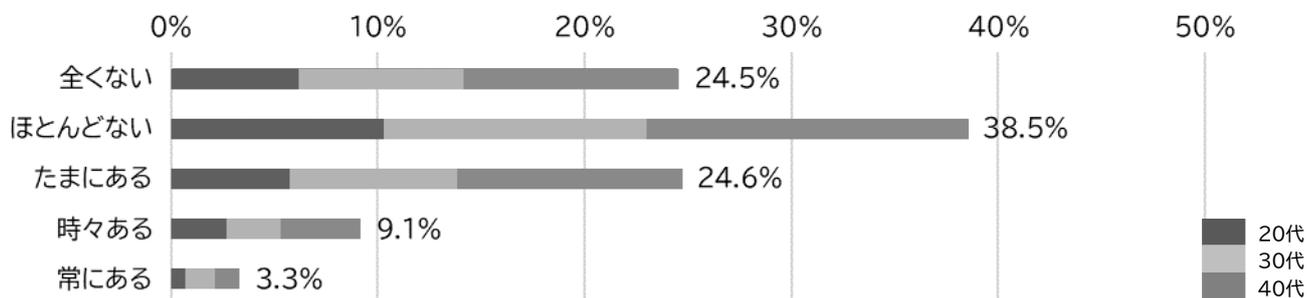
問10 あなた自身について、あてはまるものを選んでください。(選択はいくつでも)

「自分の親から愛されていると思う」が 51.7%と最も多く、次いで「自分らしさというものがある」が 39.7%、「人生で起こることは、結局は自分に原因がある」が 38.0%となっています。



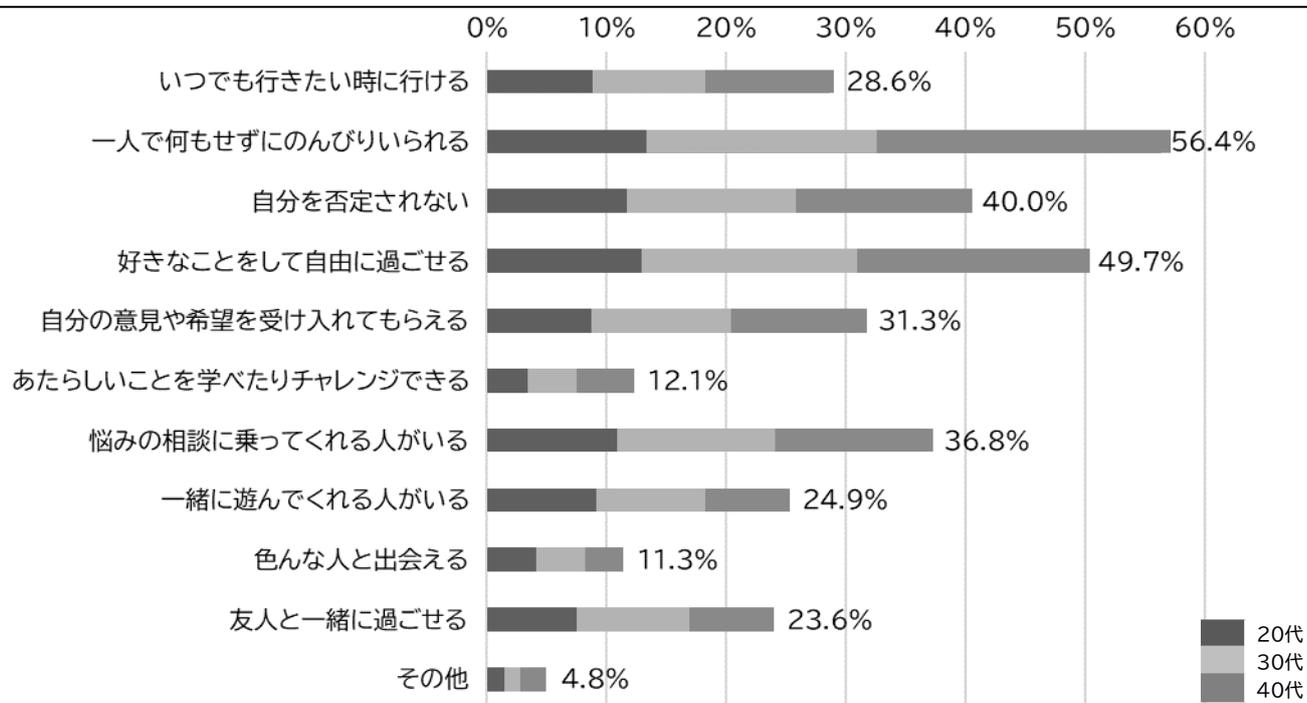
問11 あなたは孤独であると感じることがありますか。(選択は1つ)

「ほとんどない」が 38.5%と最も多く、次いで「たまにある」が 24.6%、「全くない」が 24.5%となっています。



問12 あなたは【居場所】と聞いて、どの様な場所をイメージしますか。(選択はいくつでも)

「一人で何もせずにのんびりいられる」が 56.4%と最も多く、次いで「好きなことをして自由に過ごせる」が 49.7%、「自分を否定されない」が 40.0%となっています

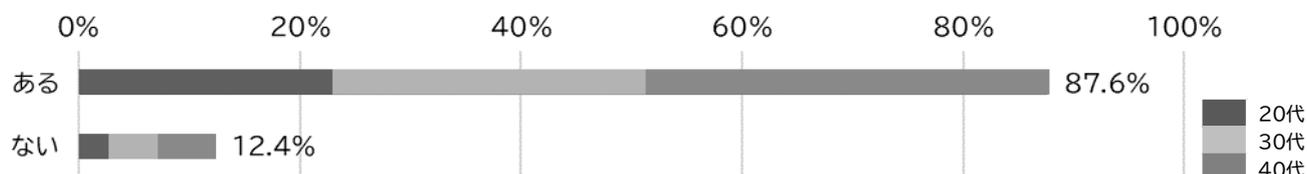


●その他

家族、心安らぐ、自分の家、家庭、自分に役割がある、自分らしくいられる、信頼する人と共に過ごせる
 安心して過ごせる、必要とされる、居てもいい、自然にいられる、好きな人の隣、いる場所、該当なし
 他者との関係性が良好な環境、居場所が作れる程余裕がない、考える余裕がない

問13 あなたは「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(選択は1つ)

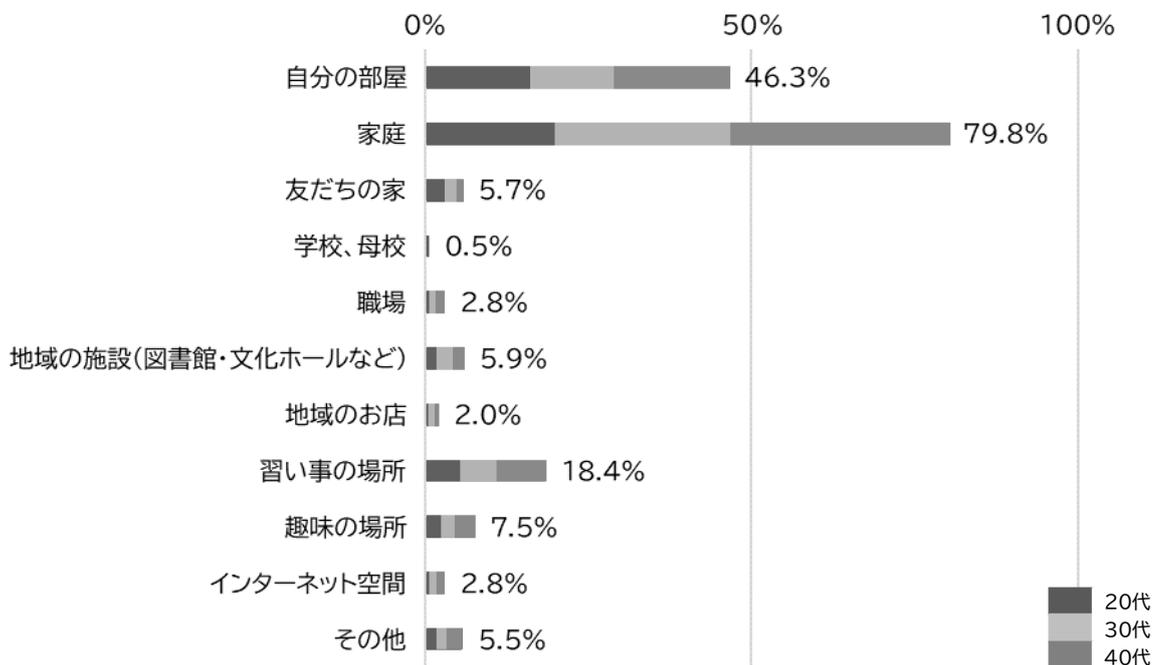
「ある」が 87.6%と多く、「ない」が 12.4%となっています。



(問13で「ある」と回答した方)

問13-1 あなたにとっての居場所はどこですか。(選択はいくつでも)

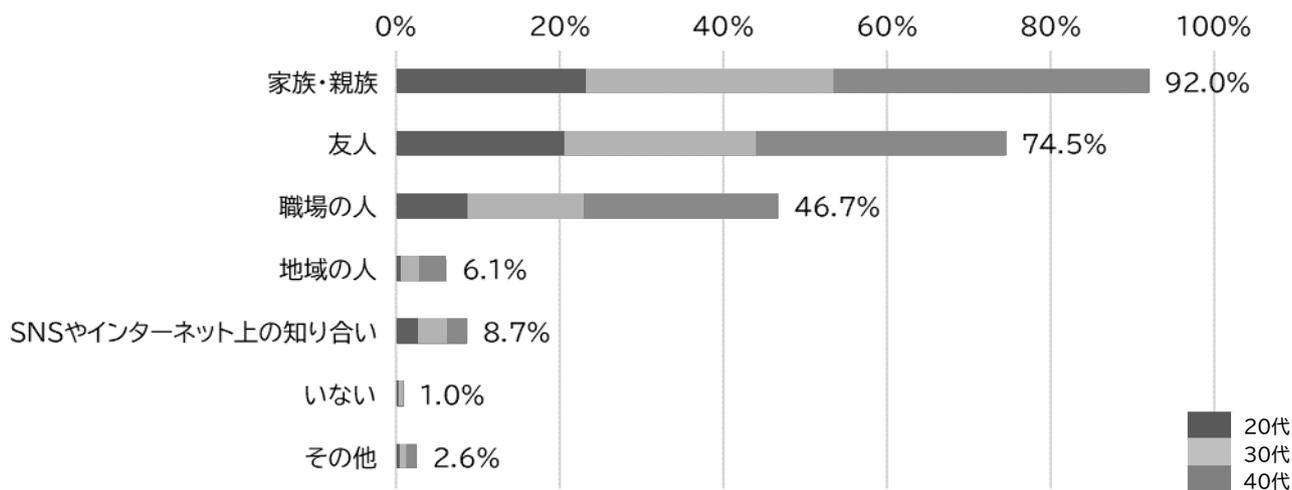
「家庭」が79.8%と最も多く、次いで「自分の部屋」が46.3%、「習い事の場所」が18.4%となっています。



●その他
 自宅、実家、親という空間、祖母の家、友達や仲間という空間、自然、教会、旅先のホテル、トイレ
 こたつ、住み慣れた環境

問14 あなたが日常で会話やメール(LINE・DMを含む)している相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

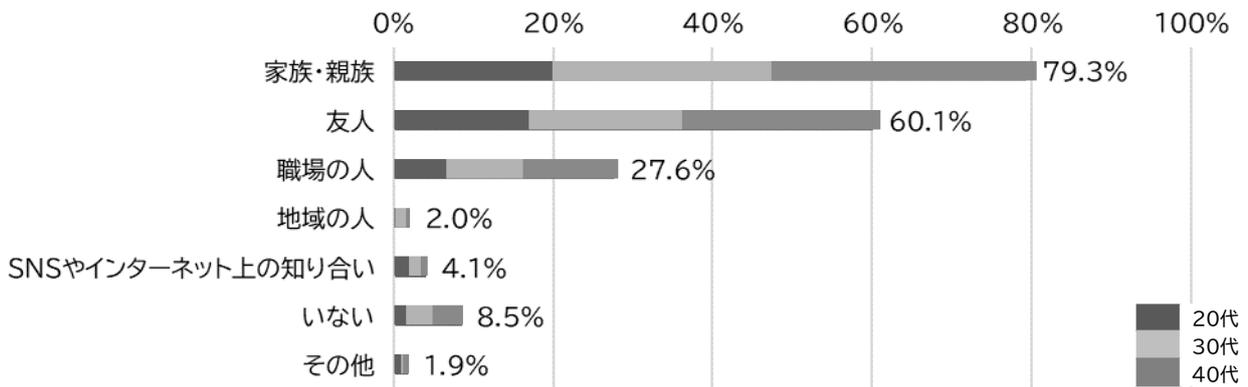
「家族・親族」が92.0%と最も多く、次いで「友人」が74.5%、「職場の人」が46.7%となっています。



●その他
 恋人、パートナー、仕事関係、取引先、エンドユーザー、お客様、幼稚園の先生、子どもの学校関係
 発達支援の先生、ママ友、保護者間のつながり、サークル仲間

問15 あなたがなんでも悩みを相談できる相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

「家族・親族」が79.3%と最も多く、次いで「友人」が60.1%、「職場の人」が27.6%となっています。

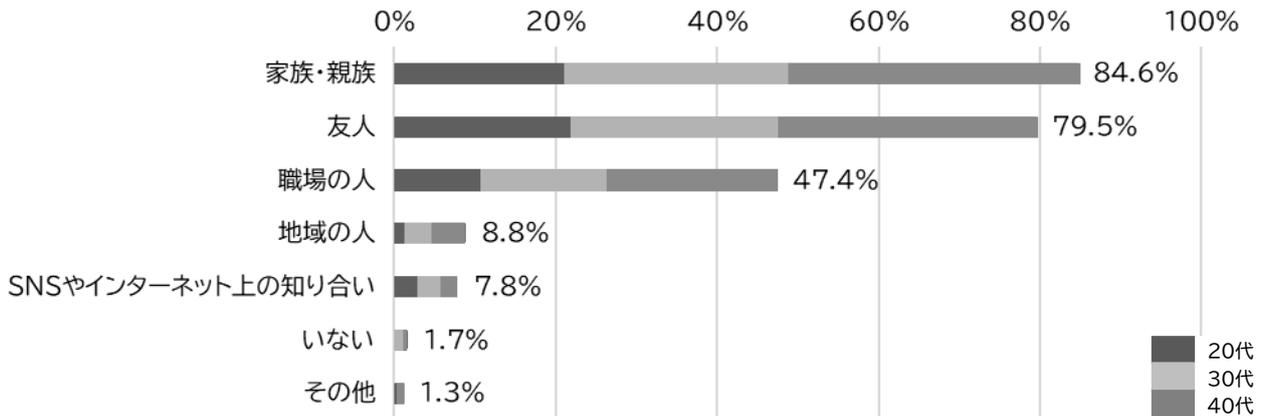


●その他

恋人、パートナー、元・高校の先生、chatGPT、仕事で知り合った人、悩みは自分で解決する、悩みがない

問16 あなたが楽しく話せる相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

「家族・親族」が84.6%と最も多く、次いで「友人」が79.5%、「職場の人」が47.4%となっています。

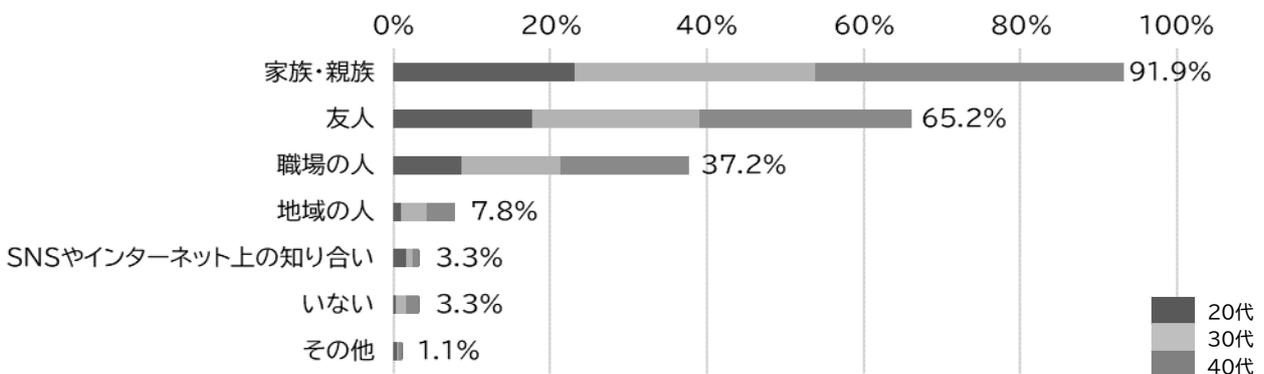


●その他

恋人、パートナー、若い頃から知っている方々、趣味を共有している人、楽しく話そうと思えば誰とでも楽しく会話することができる、仕事関係者、話の合う人がいないので適当に合わせるだけで特にない

問17 あなたが困った時に助けてくれる相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

「家族・親族」が91.9%と最も多く、次いで「友人」が65.2%、「職場の人」が37.2%となっています。

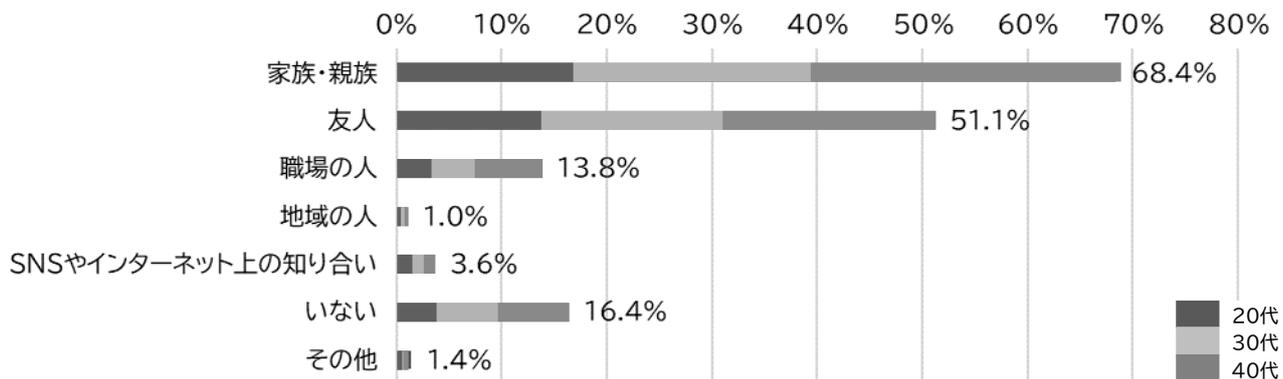


●その他

恋人、パートナー、推し、市議会議員、それぞれの専門家、困っている内容・状況によって相手は変わる

問18 あなたが他の人には言えない本音を話せる相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

「家族・親族」が68.4%と最も多く、次いで「友人」が51.1%、「いない」が16.4%となっています。

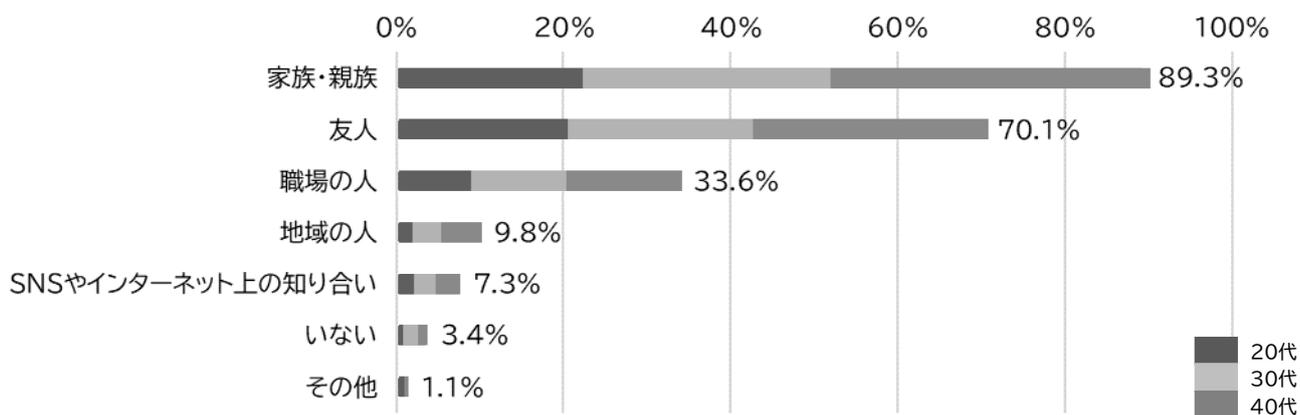


●その他

恋人、パートナー、内容によって変わる、特定の誰かはいない、他の人に言えないような本音がないと思う

問19 あなたが繋がりを感じている相手は誰ですか。(選択はいくつでも)

「家族・親族」が89.3%と最も多く、次いで「友人」が70.1%、「職場の人」が33.6%となっています。

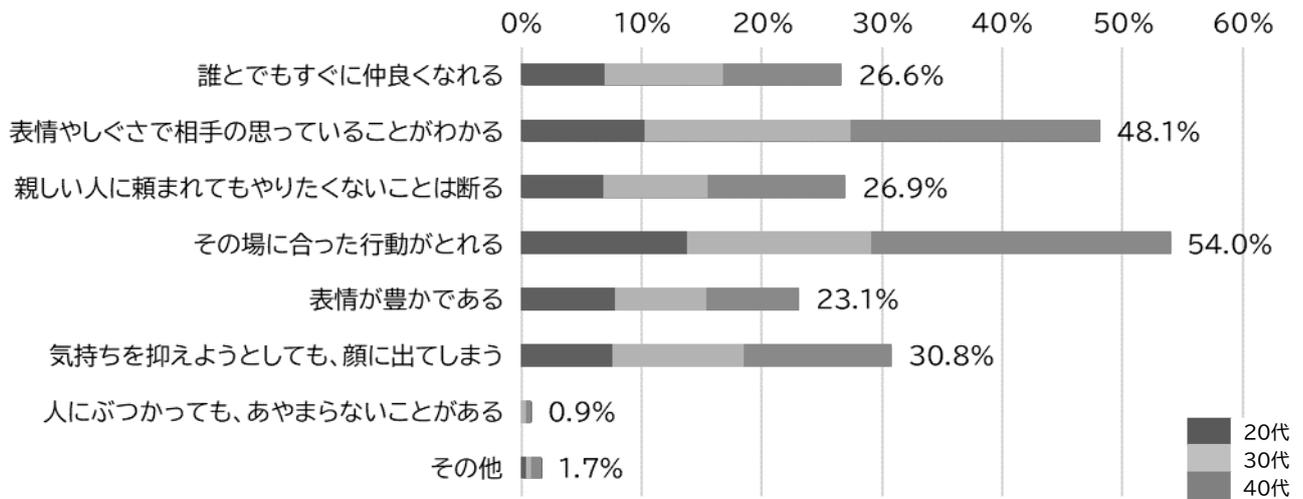


●その他

恋人、パートナー、こども、みんな、わからない、繋がりが何かわからない

問20 あなたは他の人と付き合う時、次のようなことがあてはまりますか。(選択はいくつでも)

「その場に合った行動がとれる」が 54.0%と最も多く、次いで「表情やしぐさで相手の思っていることがわかる」が 48.1%、「気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう」が 30.8%となっています。

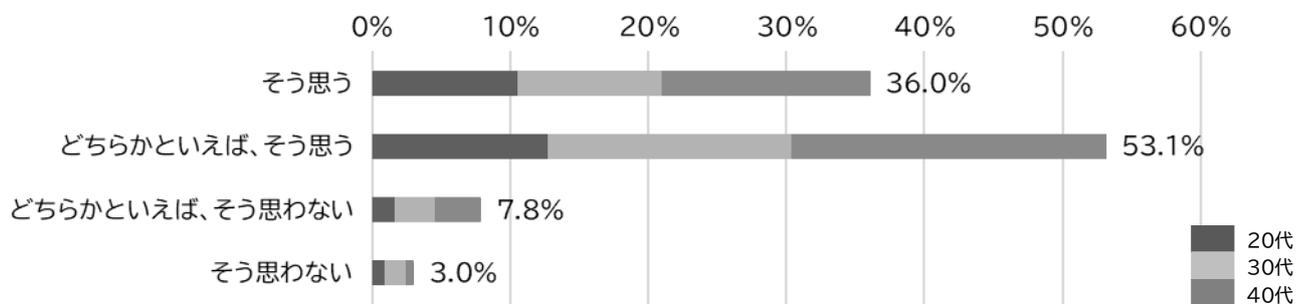


●その他

人見知り、その場にそぐわない発言をしてしまう、基本赤の他人の名前は覚える気がない、ケースバイケースで周りに合わせて気を使う、よくわからない、基本的には人付き合いは苦手、その時の気分などで変わる為全部あてはまるといえる、該当なし

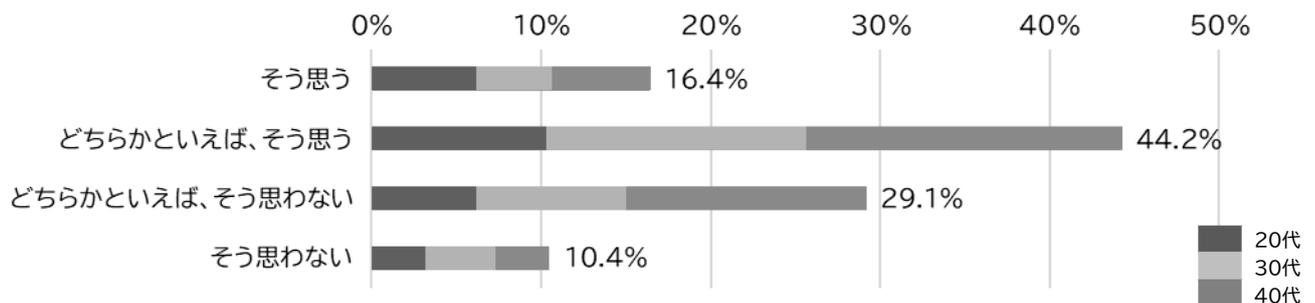
問21 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いませんか。(選択は1つ)

「どちらかといえば、そう思う」が 53.1%と最も多く、次いで「そう思う」が 36.0%、「どちらかといえば、そう思わない」が 7.8%となっています。



問22 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。(選択は1つ)

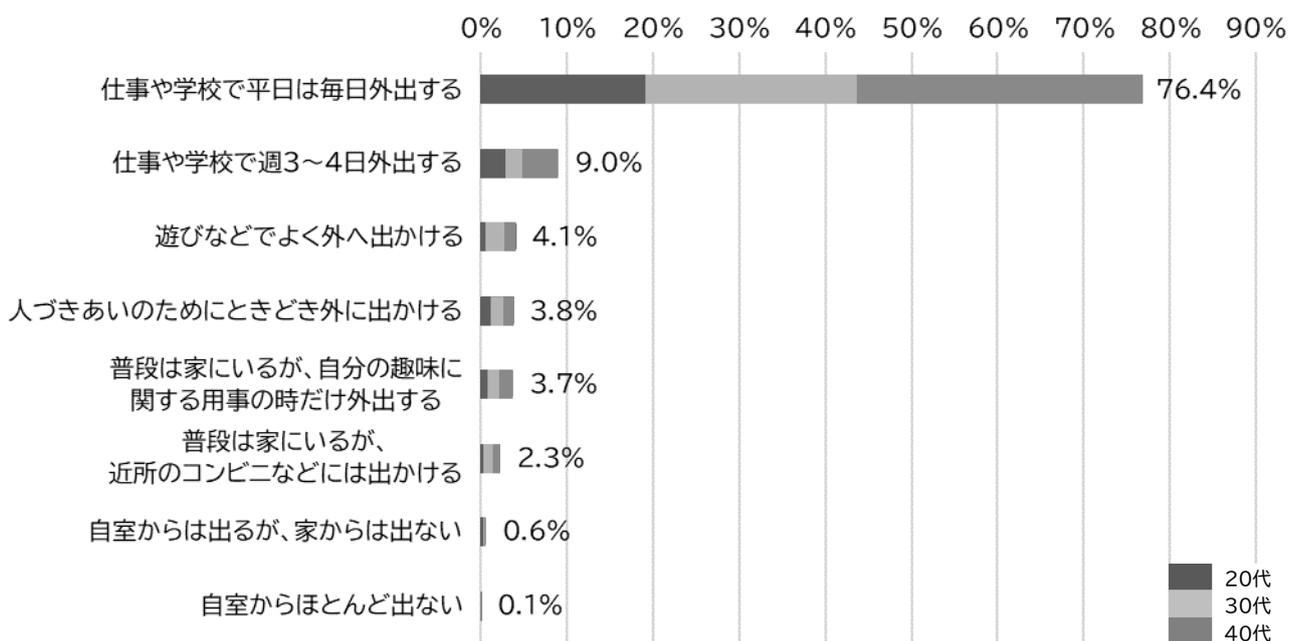
「どちらかといえば、そう思う」が 44.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」が 29.1%、「そう思う」が 16.4%となっています。



問23 あなたは普段どのくらい外出しますか現在のことについて最も当てはまることをお答えください。

(選択は1つ)

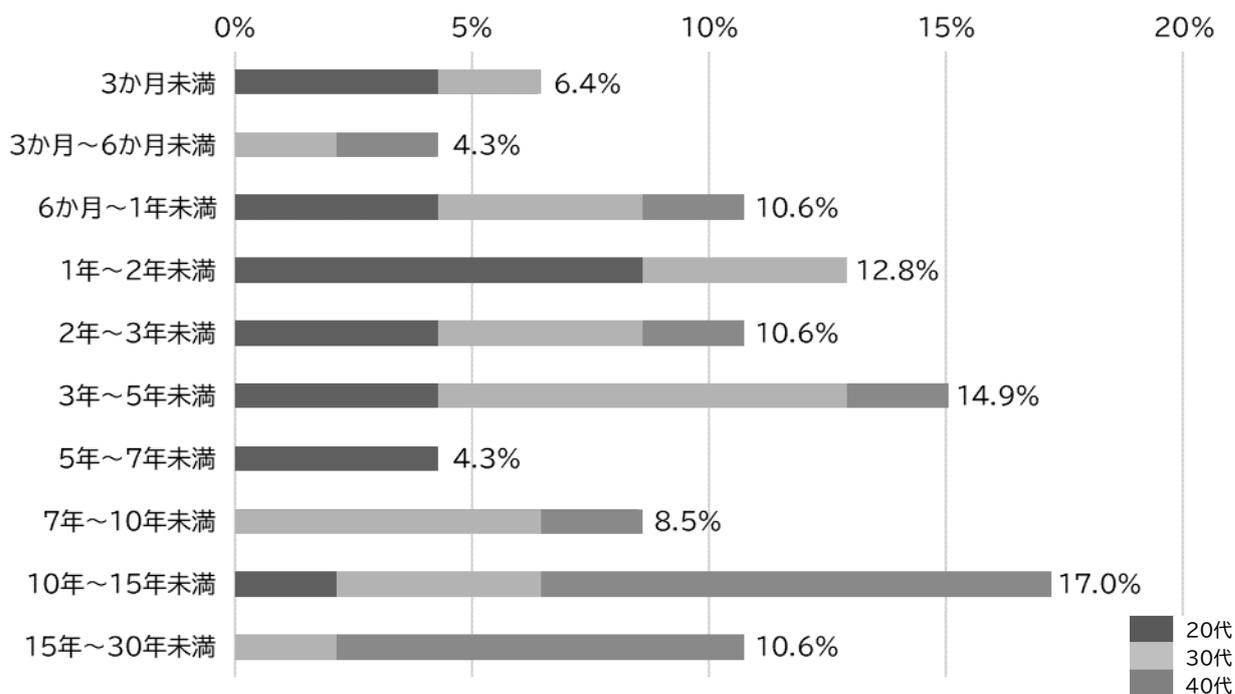
「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 76.4%と最も多く、次いで「仕事や学校で週3～4日外出する」が 9.0%、「遊びなどでよく外に出かける」が 4.1%となっています。



(問23で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した方)

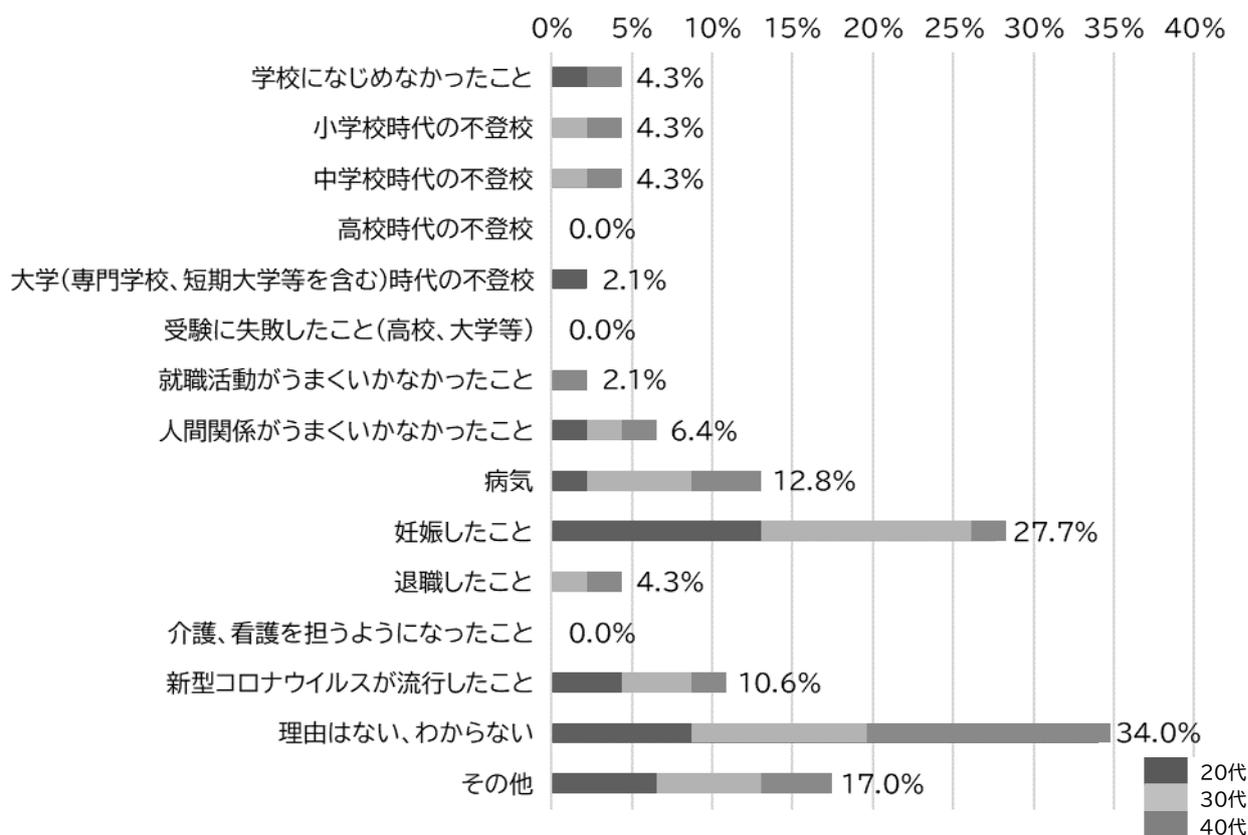
問23-1 あなたは外出状況が今のようになってから、どのくらいたちますか。(選択は1つ)

「10年～15年未満」が17.0%と最も多く、次いで「3年～5年未満」が14.9%、「1年～2年未満」が12.8%となっています。



問23-2 あなたの外出状況が現在の状況になった主な理由は何ですか。(選択はいくつでも)

「理由はない・わからない」が 34.0%と最も多く、次いで「妊娠したこと」が 27.7%、「病気」が 12.8%となっています。

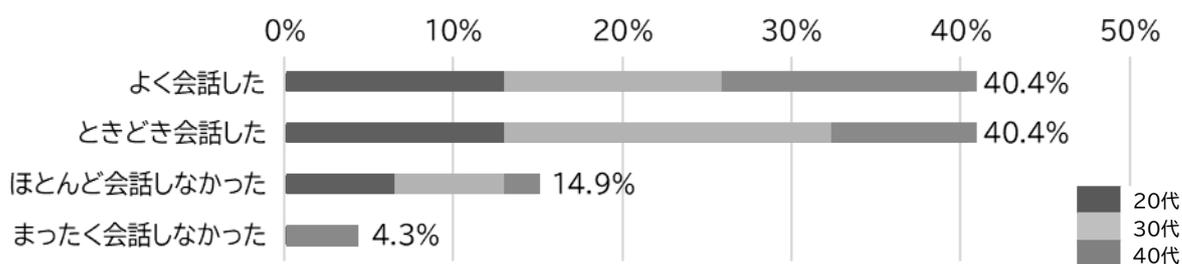


●その他

産後の不調、産後子どもと家にいる事が多い、育児休業のため、家族間問題、外出に使うお金が無い
四万十市が嫌、リモート勤務のため、就職して体力に余裕がないため

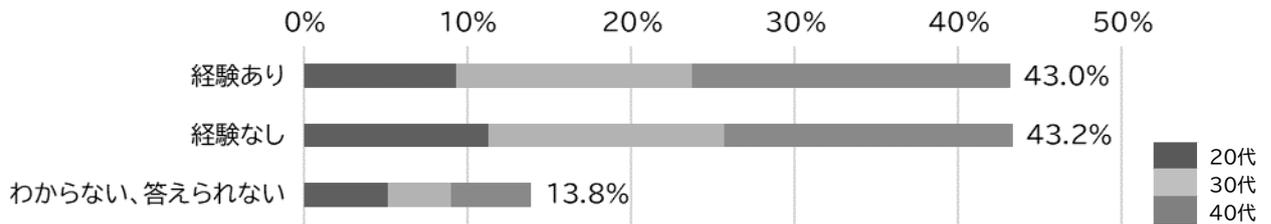
問23-3 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(選択は1つ)

「よく会話した」「ときどき会話した」が 40.4%と同率で多く、次いで「ほとんど会話しなかった」が 14.9%となっています。



問24 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。(選択は1つ)

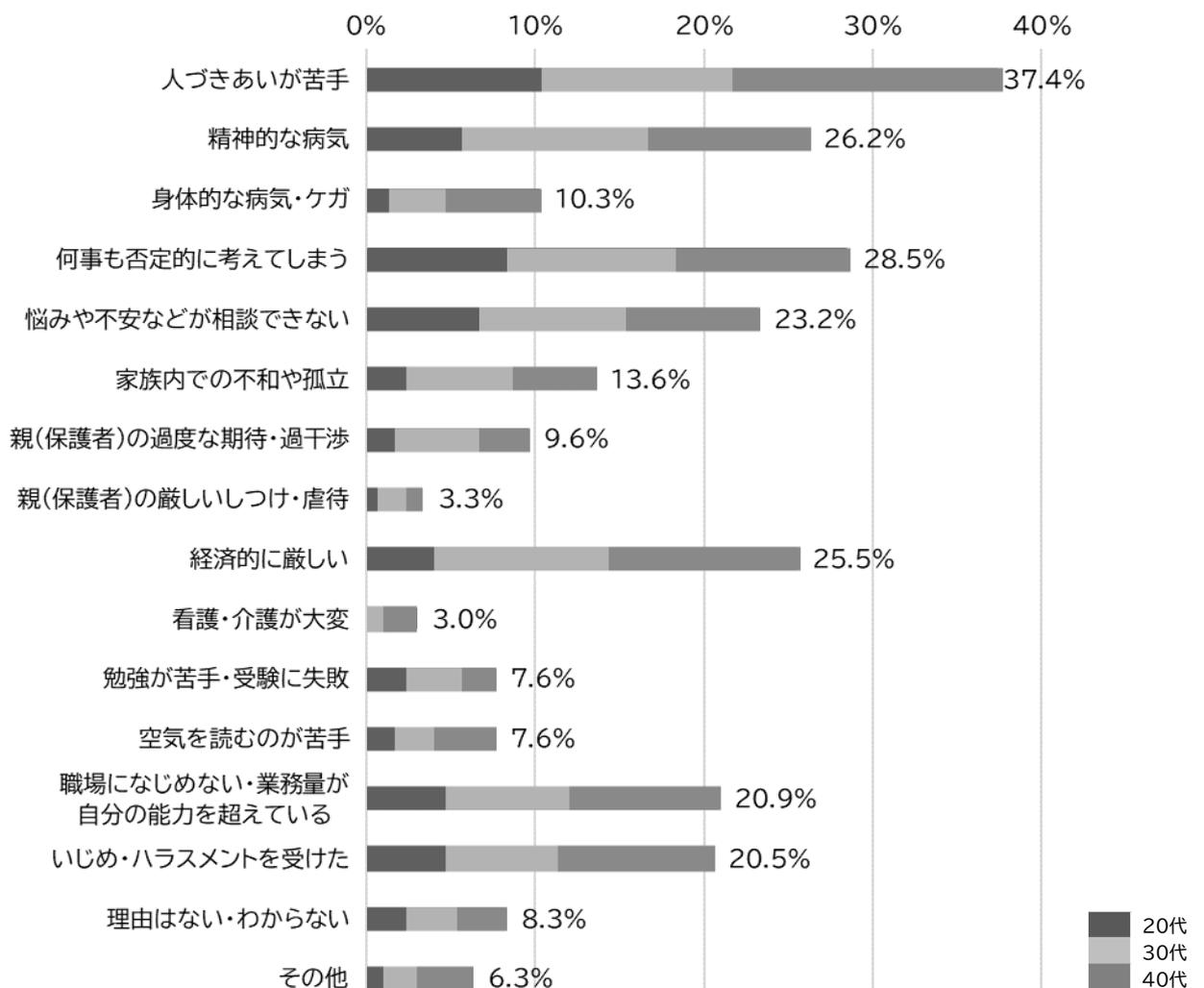
「経験なし」が43.2%と最も多く、次いで「経験あり」が43.0%、「わからない、答えられない」が13.8%となっています。



(問24で「ある」と回答した方)

問24-1 社会生活で日常生活を円滑に送ることができなかった要因として何があると思いますか。(選択はいくつでも)

「人づきあいが苦手」が37.4%と最も多く、次いで「何事も否定的に考えてしまう」が28.5%、「精神的な病気」が26.2%となっています。

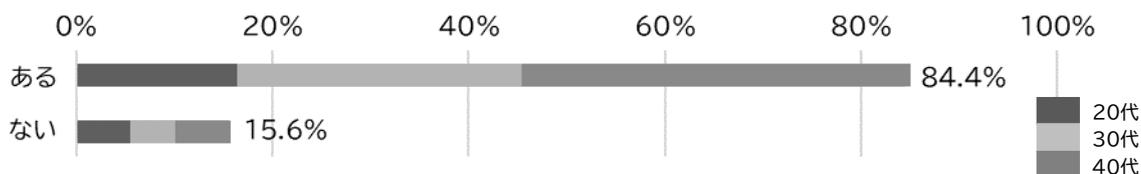


●その他

DV、考えすぎる、虐待、経営不振、離婚、妊娠、悪阻、産後、求める環境がなかった、靈感と悟り結婚生活、職場の悪阻に対する理解のなさ、人の気持ちは何となくわかるが、次への休養子のために休むことへの職場の理解のなさ、子の病気による不安、近所からの嫌がらせ、職場の上司や経営者との対立、行動にうつせない、言葉のわからない国に住んでいたから

問24-2 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状況が、改善した経験がありましたか。(選択は1つ)

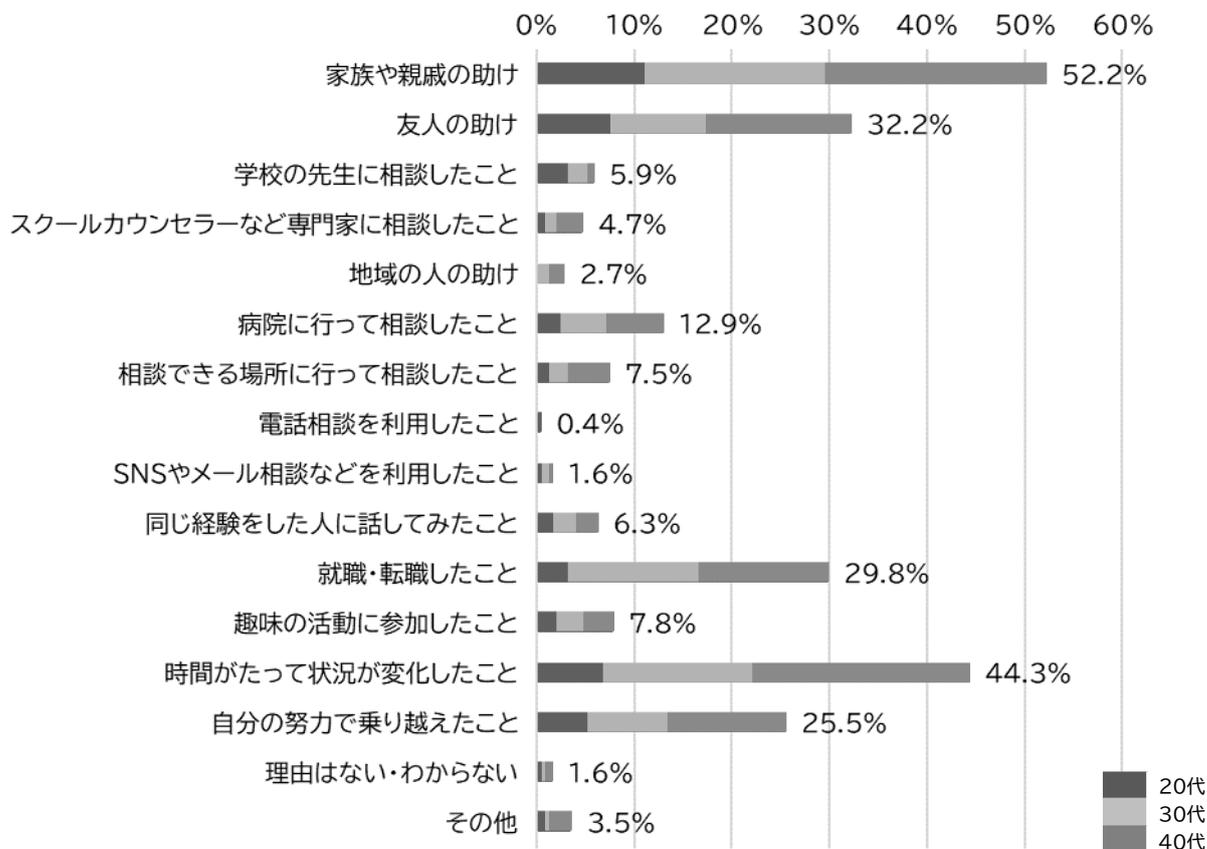
「ある」が84.4%と多く、「ない」が15.6%、となっています。



(問24-2で「ある」と回答した方)

問24-2-1 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何ですか。(選択はいくつでも)

「家族や親戚の助け」が 52.2%と最も多く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」が 44.3%、「友人の助け」が 32.2%となっています。

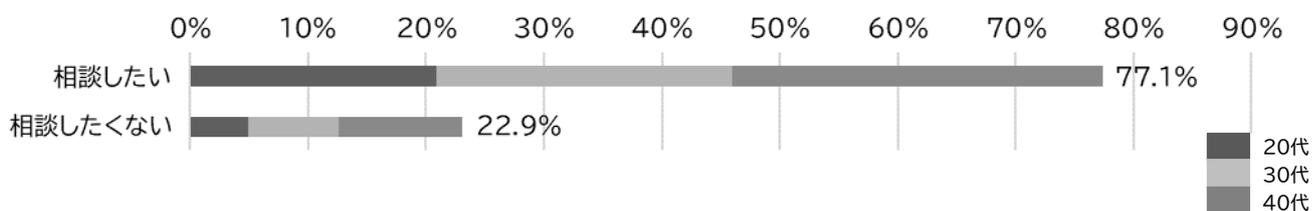


●その他

住む環境の変更、離婚、県外の大学生生活、移住、恋人へ相談、病気から回復、話し合い
時間経過による状況への慣れ、出雲大社に行って運氣を変えに行った

問25 あなたが社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった場合、誰かに相談したいと思いますか。(選択は1つ)

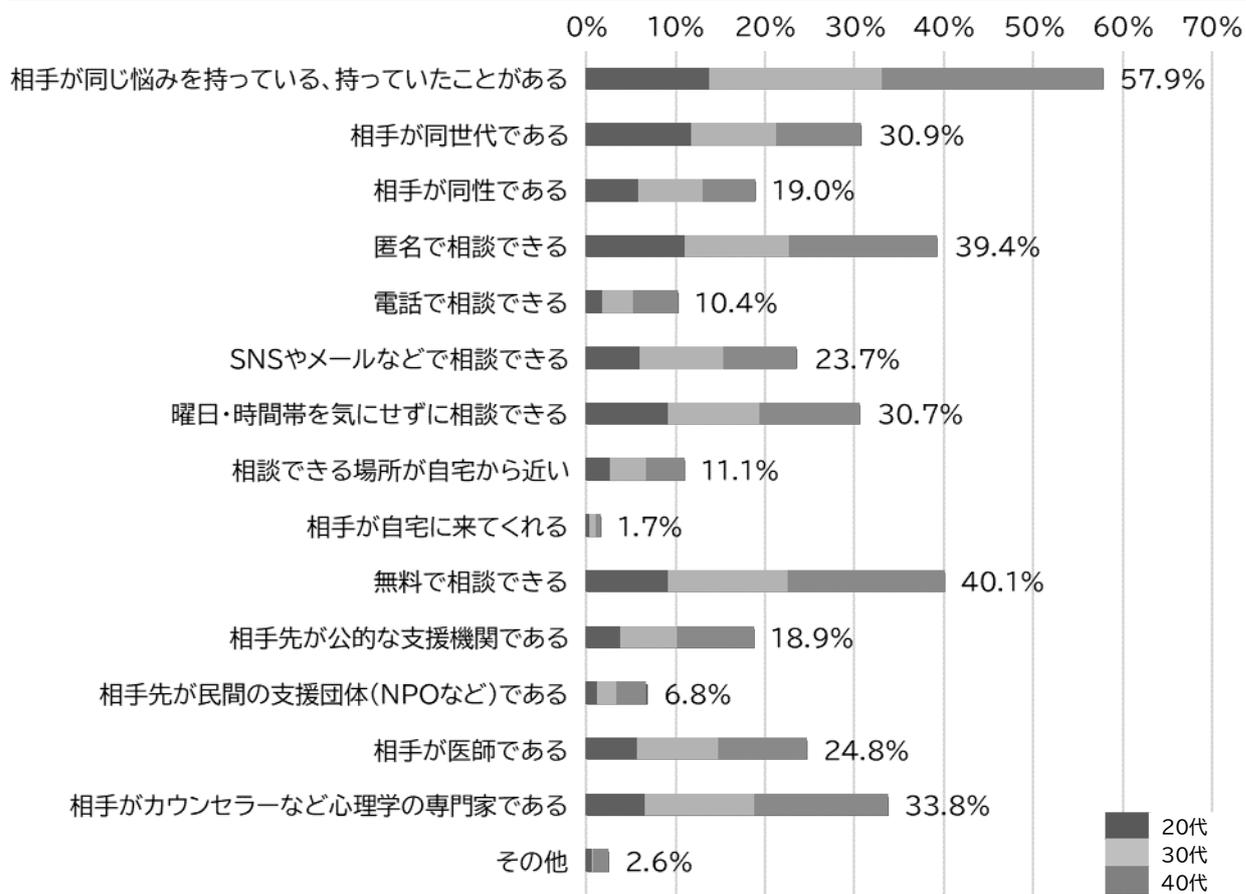
「相談したい」が 77.1%と多く、「相談したくない」が 22.9%となっています。



(問25で「相談したい」と回答した方)

問25-1 家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所が良いですか。(選択はいつでも)

「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が57.9%と最も多く、「無料で相談できる」が40.1%、「匿名で相談できる」が39.4%となっています。



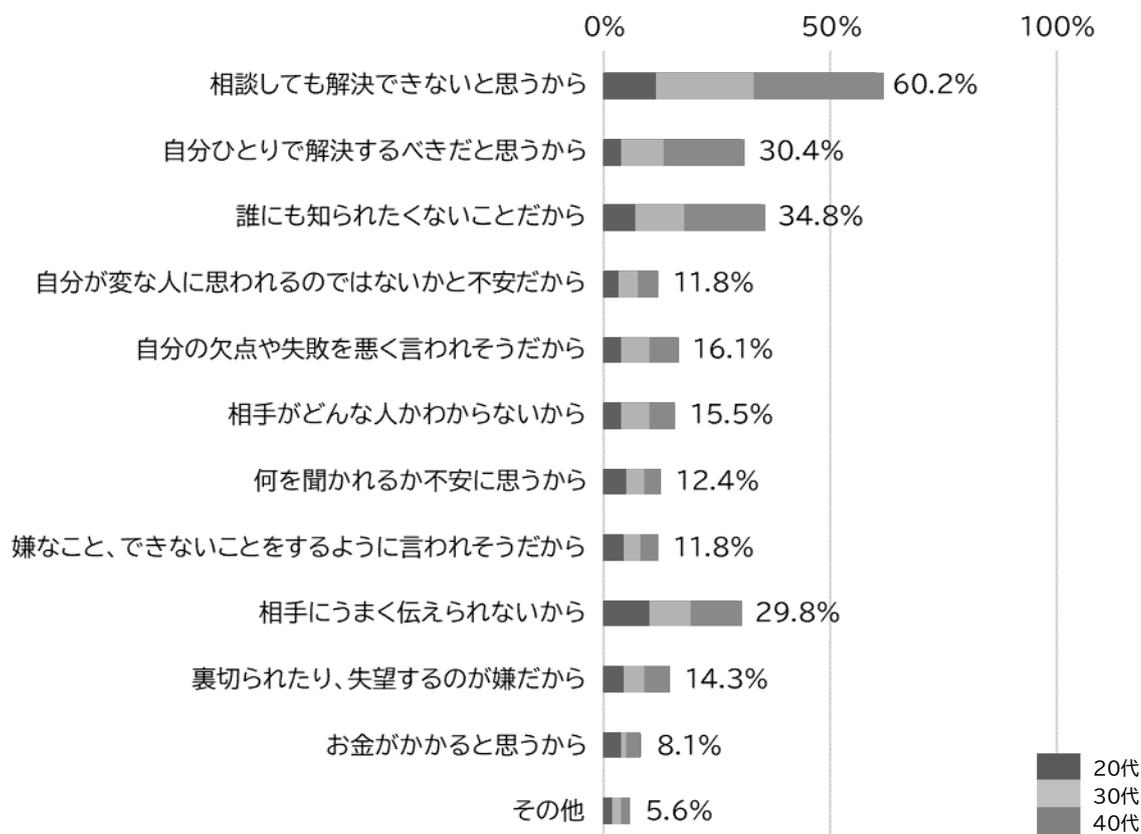
●その他

絶対知り合いでないこと、プライバシー保護の徹底、相談する内容によって相談相手を選択する
自分とは正反対の性格の友人、よくわからない、専門の相談員、近親者のみ、嘘偽りのない人
その状況になってみないと分からない、家族や友人以外には相談しないと思う

(問25で「相談したくない」と回答した方)

問25-2 相談したくないと思う理由は何ですか。(選択はいくつでも)

「相談しても解決できないと思うから」が 60.2%と多く、「誰にも知られたくないことだから」が 34.8%、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が 30.4%となっています。

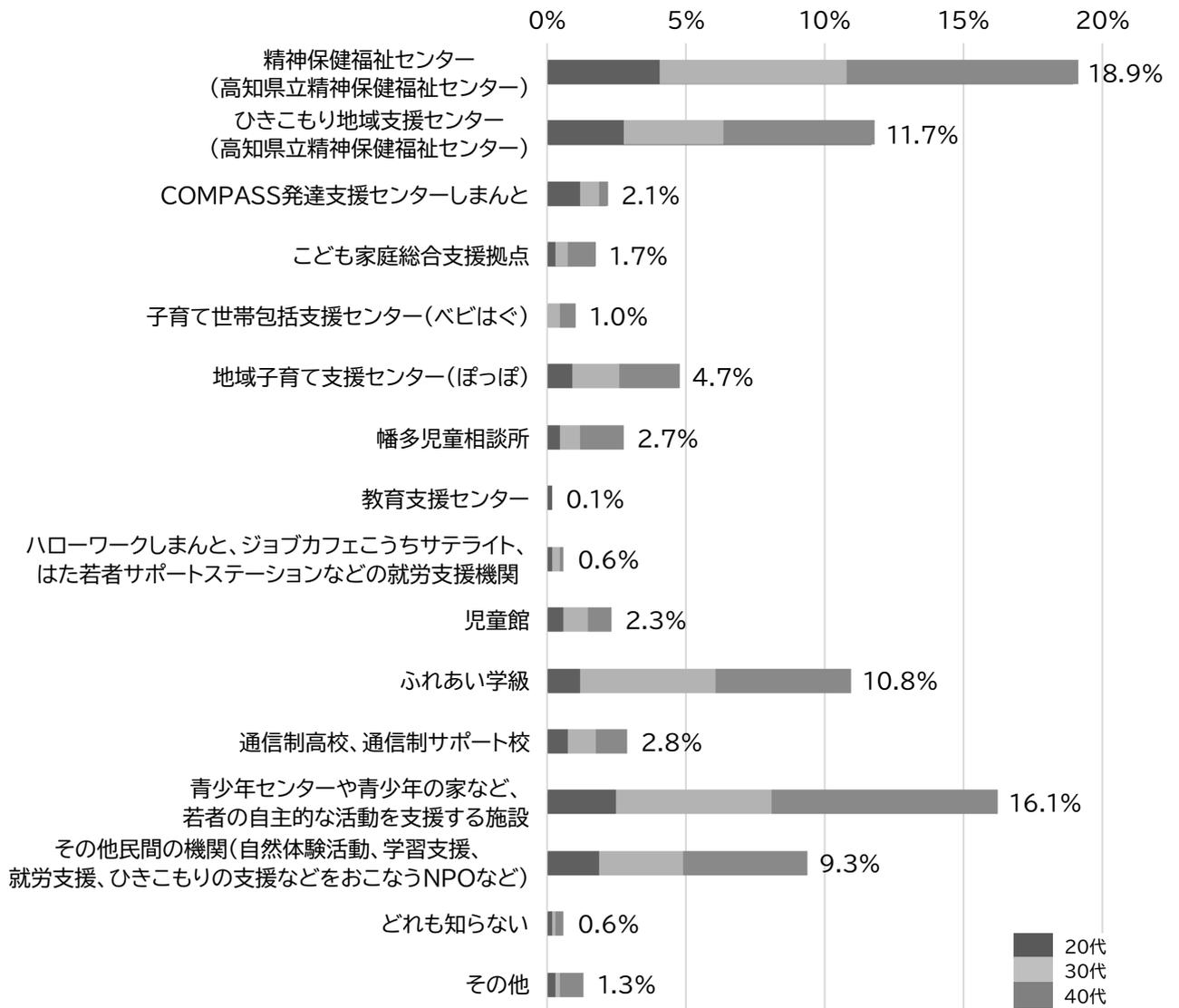


●その他

自分の悩みは極力人に話したくない、自分でなんとか出来るから、相談したところで解決しない
立ち行かなくなった時は死ぬのが自然の摂理だと思っている
綺麗事言われても困りそう、相談しても無理な事は多々ある
おそらくその段階になっても自分が相談が必要な状態だと実感できないだろうから

問26 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(選択はいくつでも)

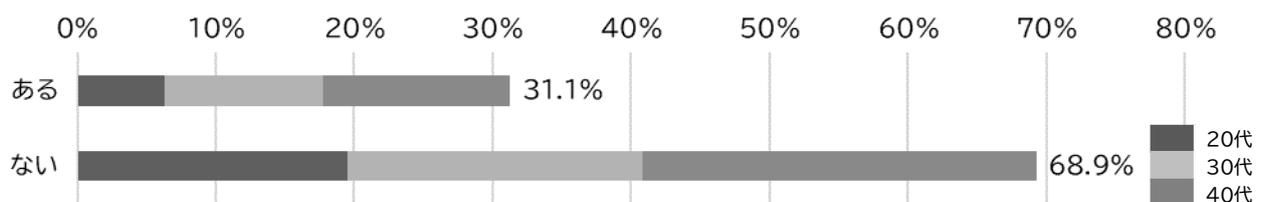
「精神保健福祉センター(高知県立精神保健福祉センター)」が18.9%と最も多く、次いで「青少年センターや青少年の家など、若者の自主的な活動を支援する施設」が16.1%、「ひきこもり地域支援センター(高知県立精神保健福祉センター)」が11.7%となっています。



●その他
 あったかふれあいセンター、子育て支援センター(ぴよっこ)、あつがる
 しっかり周知もしない内容を質問に入れるな

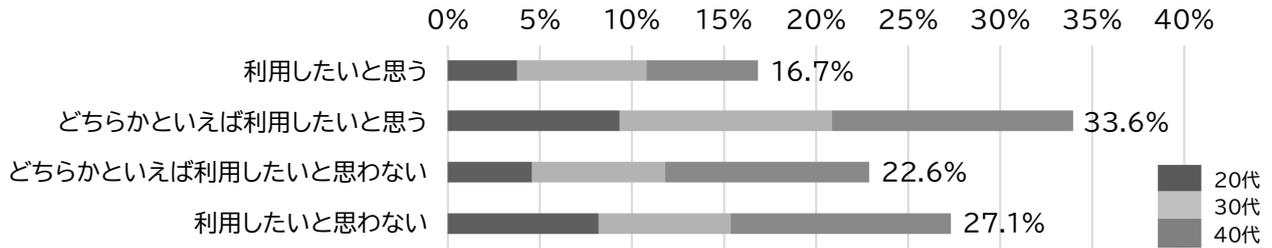
問27 あなたは子ども・若者を対象とした育成支援機関等の利用したことがありますか。(選択は1つ)

「ない」が68.9%と多く、「ある」が31.1%となっています。



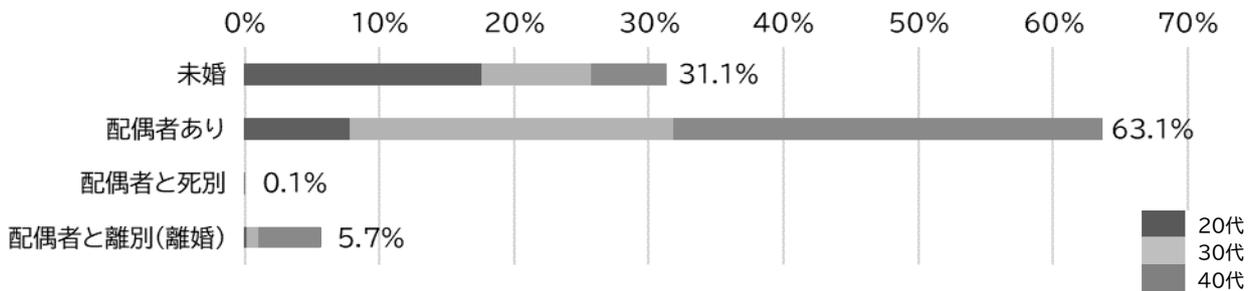
問28 あなたはこども・若者を対象とした育成支援機関等を利用しようと思いますか。(選択は1つ)

「どちらかといえば利用したいと思う」が 33.6%と最も多く、次いで「利用したいと思わない」が 27.1%、「どちらかといえば利用したいと思わない」が 22.6%となっています。



問29 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には婚姻の届出はしていないが事実上の婚姻と同様の状態にある方を含みます。(選択は1つ)

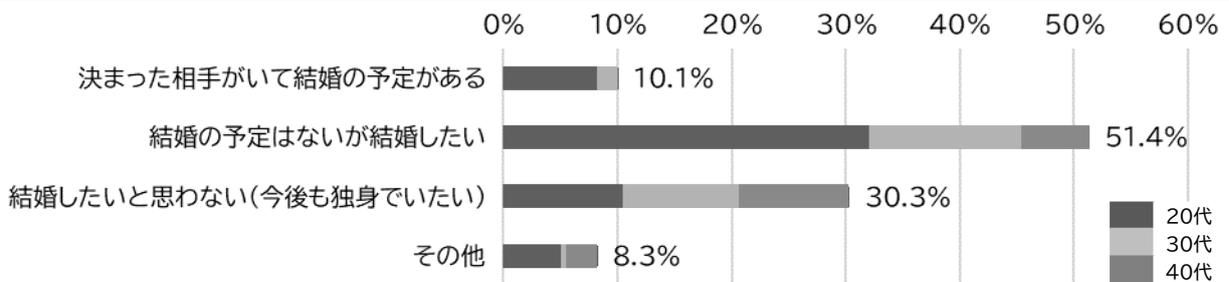
「配偶者あり」が 63.1%と最も多く、次いで「未婚」が 31.1%、「配偶者と離別(離婚)」が 5.7%となっています。



(問29で「未婚」と回答した方)

問29-1 あなたの結婚の意向について、最も当てはまるものをお答えください。(選択は1つ)

「結婚の予定はないが結婚したい」が 51.4%と最も多く、次いで「結婚したいと思わない(今後も独身でいたい)」が 30.3%、「決まった相手がいって結婚の予定がある」が 10.1%となっています。



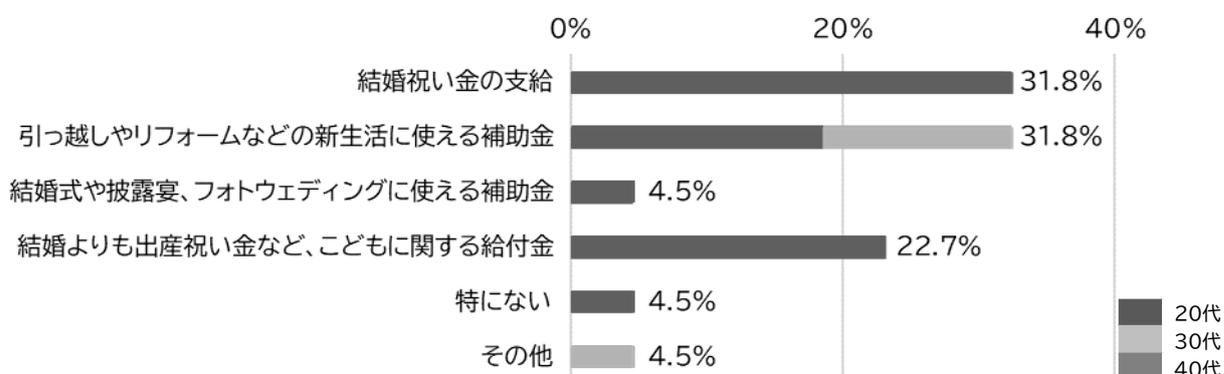
●その他

- わからない、なんとも思っていない、相手やタイミングが合えばしたい、大卒後考えたい
- どうしてもしたいとは思わない、今後のことはわからない、今結婚したいとは思わない
- 叶わないと最初から諦めている、今はまだ自分の時間のほうが楽しいと思う
- 恋人が同性だから結婚できない、独身でいたいとは思わない
- 自分の今の現状が変わらないと結婚を考えられない、一緒に過ごしたいが結婚はしなくていい
- 結婚意欲はあるが異性に対してトラウマが幼少期からあるから信用できない
- パートナーはいるが結婚という選択肢を取るかどうかはわからない
- 独身でいたい訳ではないが、結婚する事は無いと思う、良い出会いがあればと思う
- 縁があればいずれはしたいと思うが今はまだ自分の好きなことや友人たちとの時間の方が楽しい
- 一緒に過ごしたいが結婚はしなくていい、結婚したいと思う相手ができるときに考える

(問29-1で「決まった相手がいって結婚の予定がある」と回答した方)

問29-1-1 結婚に関する行政の支援で、最もあなたの希望に近いものをお答えください。(選択は1つ)

「結婚祝い金の支給」「引っ越しやリフォームなどの新生活に使える補助金」が 31.8%と同率で多く、次いで「結婚よりも出産祝い金など、こどもに関する給付金」が 22.7%となっています。

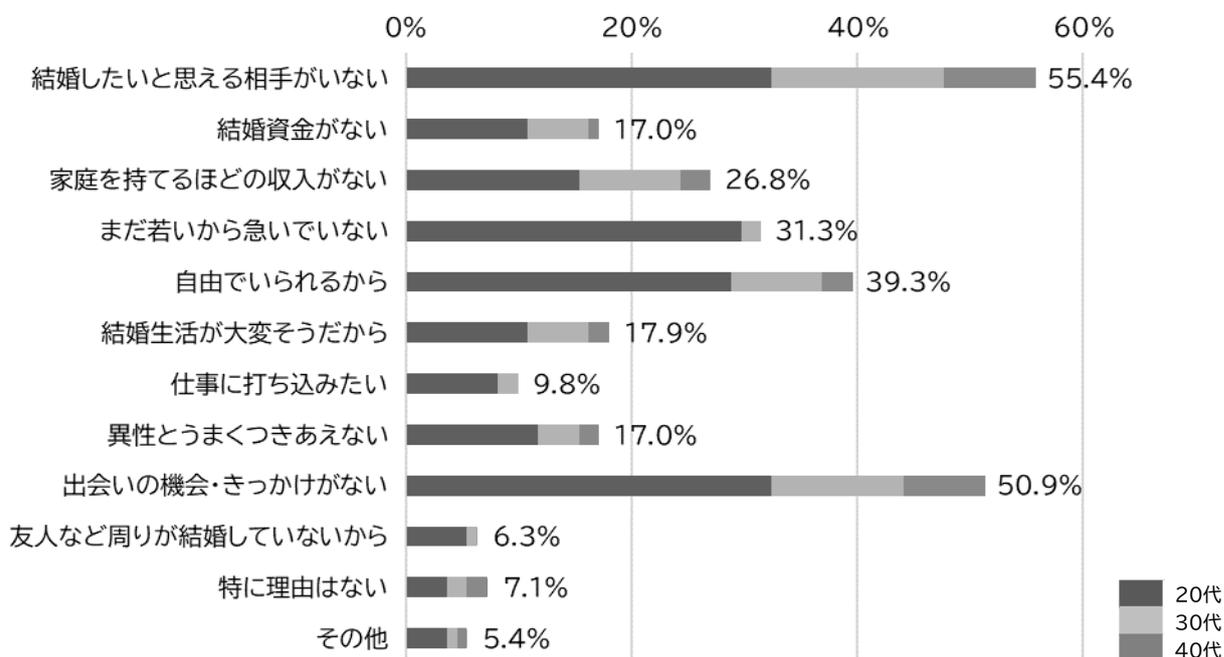


●その他
全て

(問29-1で「結婚の予定はないが結婚したい」と回答した方)

問29-1-2 あなたが結婚していない理由について教えてください。(選択はいくつでも)

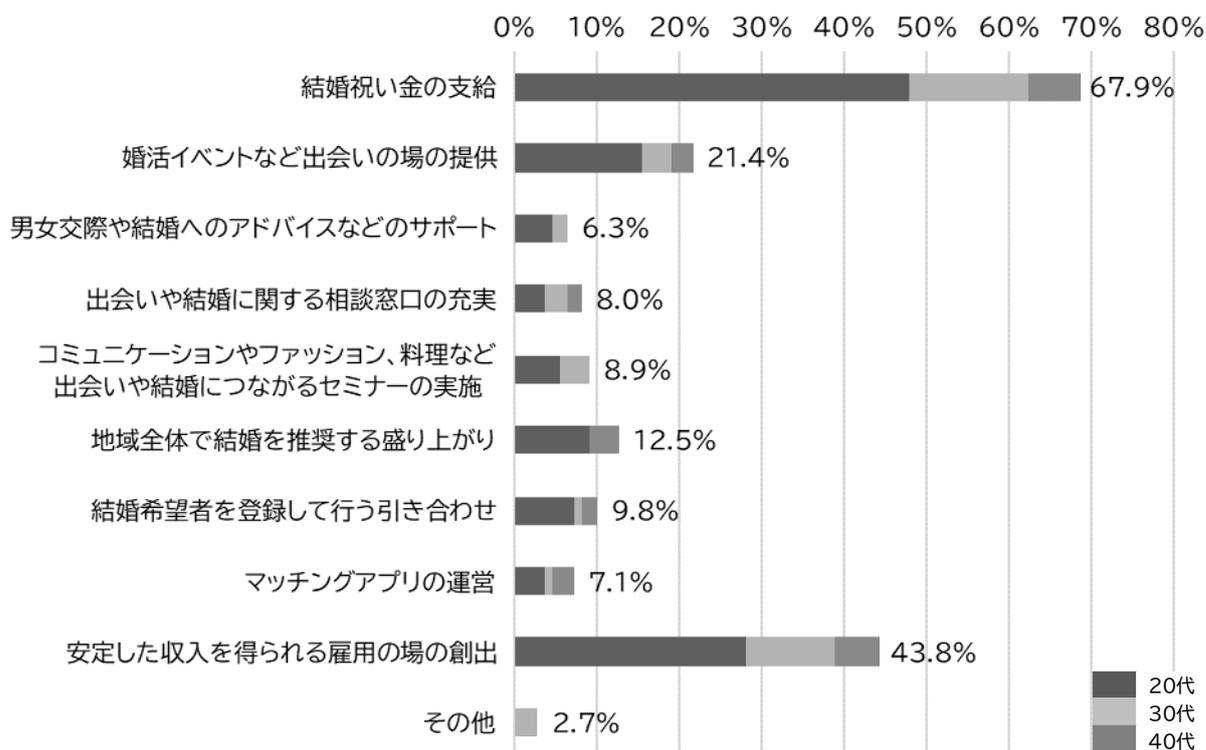
「結婚したいと思える相手がない」が 55.4%と最も多く、次いで「出会いの機会・きっかけがない」が 50.9%、「自由でいられるから」が 39.3%となっています。



●その他
勇気がない、家族が欲しい、結婚生活を送れる自信がない、学生、未婚シングルマザー、直近の相手が婿養子希望だった

問29-1-3 結婚に関する行政の支援で、あなたが希望するものをお答えください。(選択はいくつでも)

「結婚祝い金の支給」が 67.9%と最も多く、次いで「安定した収入を得られる雇用の場の創出」が 43.8%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が 21.4%となっています。



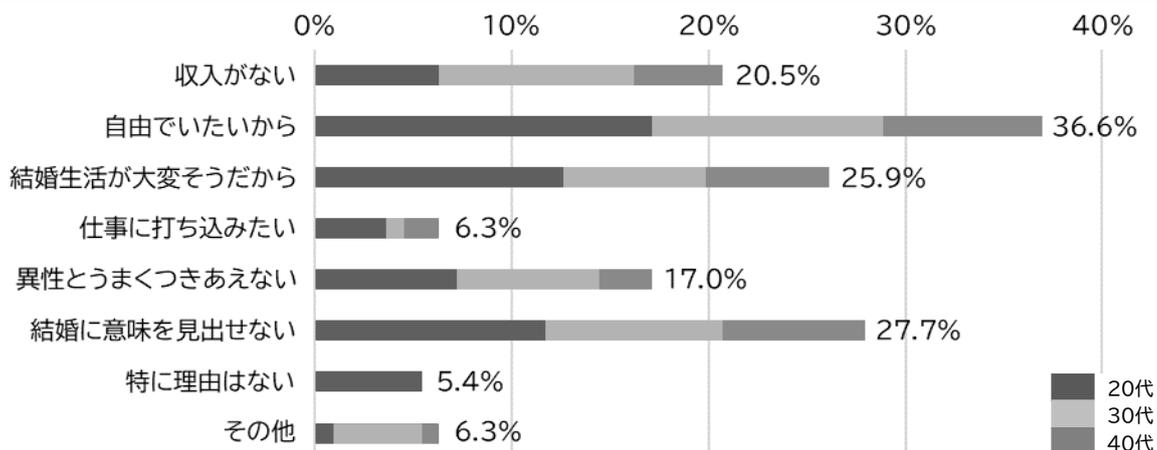
●その他

教育費用の負担軽減、子育て費用の負担軽減、特になし

(問29-1で「結婚したいと思わない(今後も独身でいたい)」と回答した方)

問29-1-4 あなたが結婚したいと思わない理由について教えてください。(選択はいくつでも)

「自由でいたいから」が 36.6%と最も多く、次いで「結婚に意味を見出せない」が 27.7%、「結婚生活が大変そうだから」が 25.9%となっています。



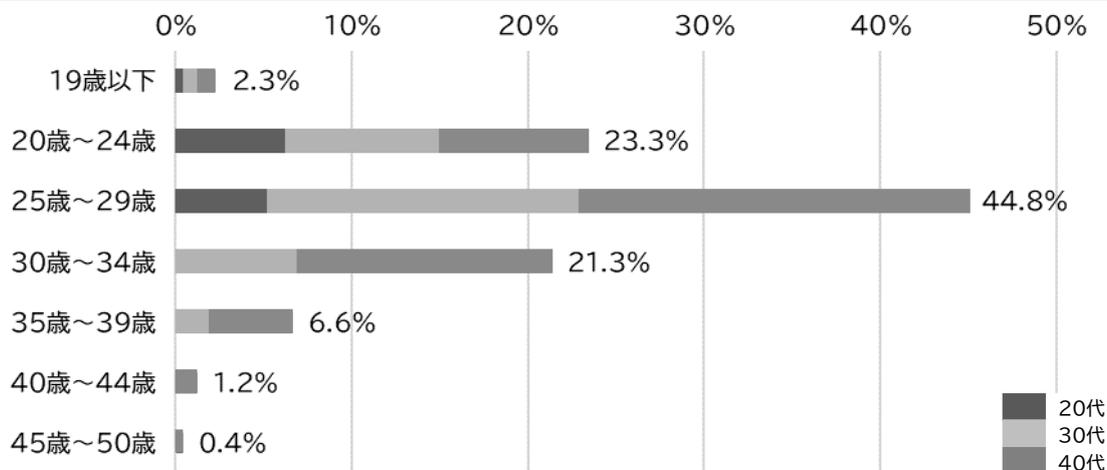
●その他

こどもが嫌い、面倒くさい、自分の病気に付き合わせたくない、新しく他人と交流したくない
希死念慮を持っている人間と結婚させる事になるのは気が引けるから、靈感と悟り

(問29で「配偶者あり」「配偶者と死別」「配偶者と離別(離婚)」と回答した方)

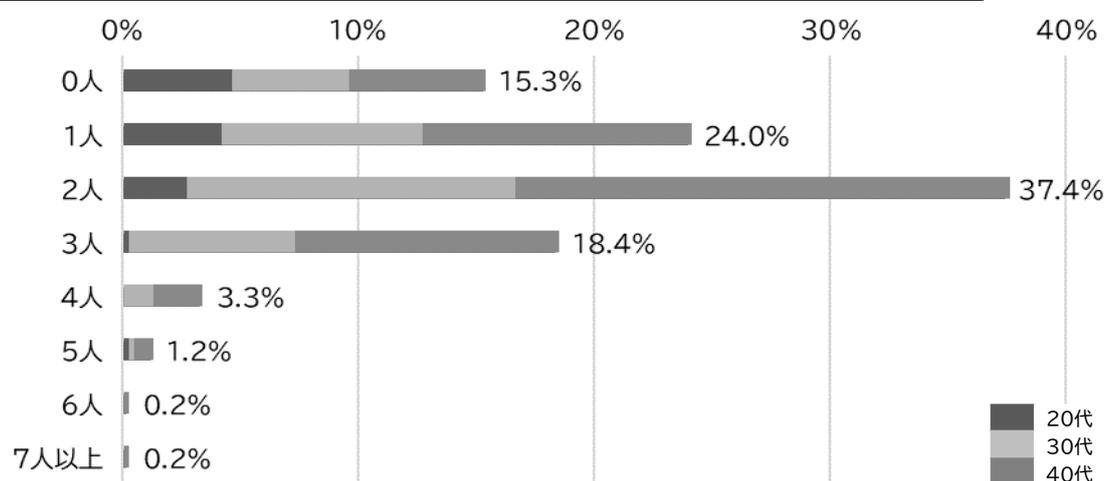
問29-2 あなたは何歳で結婚しましたか。(再婚している場合は初婚時の年齢)(選択は1つ)

「25歳～29歳」が 44.8%と最も多く、次いで「20歳～24歳」が 23.3%、「30歳～34歳」が21.3%となっています。



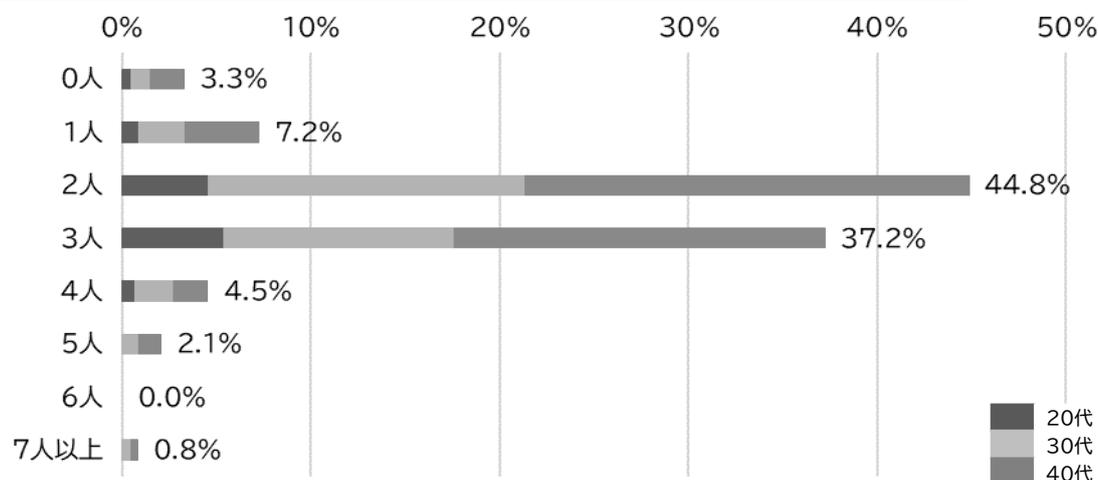
問29-3 あなたの現在のこどもの人数を教えてください。(選択は1つ)

「2人」が 37.4%と最も多く、次いで「1人」が 24.0%、「3人」が 18.4%となっています。



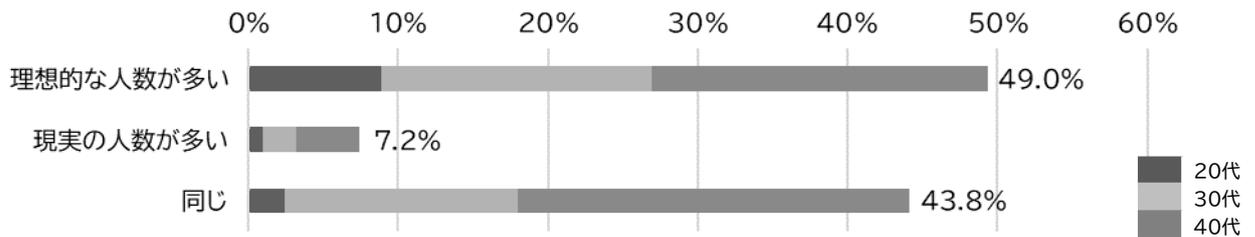
問29-4 あなたの理想的な(希望する)こどもの人数を教えてください。(選択は1つ)

「2人」が 44.8%と最も多く、次いで「3人」が 37.2%、「1人」が 7.2%となっています。



問29-5 理想的なこどもの人数と現実のこどもの人数はどちらが多いですか。(選択は1つ)

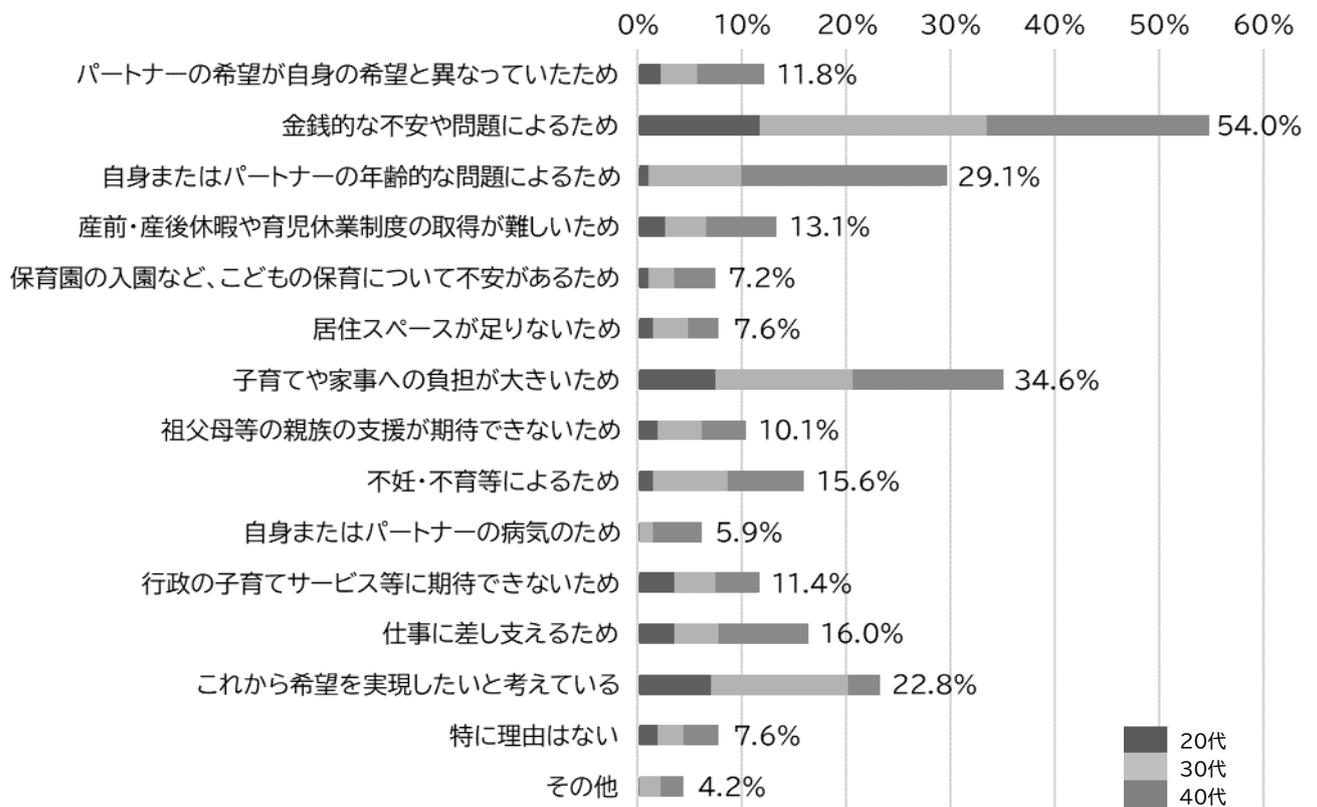
「理想的な人数が多い」が49.0%と最も多く、次いで「同じ」が43.8%、「現実の人数が多い」が7.2%となっています。



(問29-5で「理想的な人数が多い」と回答した方)

問29-5-1 こどもの人数について、理想の方が多く理由に当てはまるものをお答えください。(選択はいくつでも)

「金銭的な不安や問題によるため」が54.0%と最も多く、次いで「子育てや家事への負担が大きい」が34.6%、「自身またはパートナーの年齢的な問題によるため」が29.1%となっています。

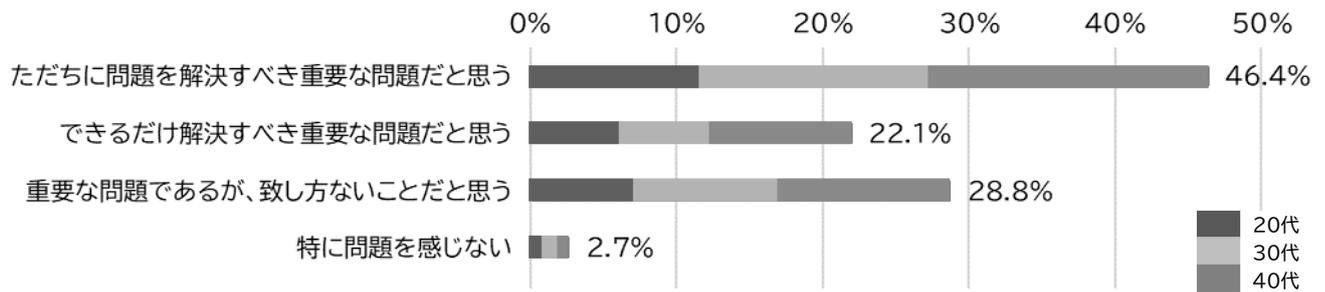


●その他

病児保育がない、離婚、国、四万十市の制度が宿毛や、四万十町に比べて弱い為
 仕事が多忙で第二子を授からず、ゆとりをもった働き方に変えたく退職を決めた
 こどもを1人亡くしているので、全員元気に育ってくれていたら理想だと思ったから

問30 あなたは少子化問題をどのように捉えていますか。(選択は1つ)

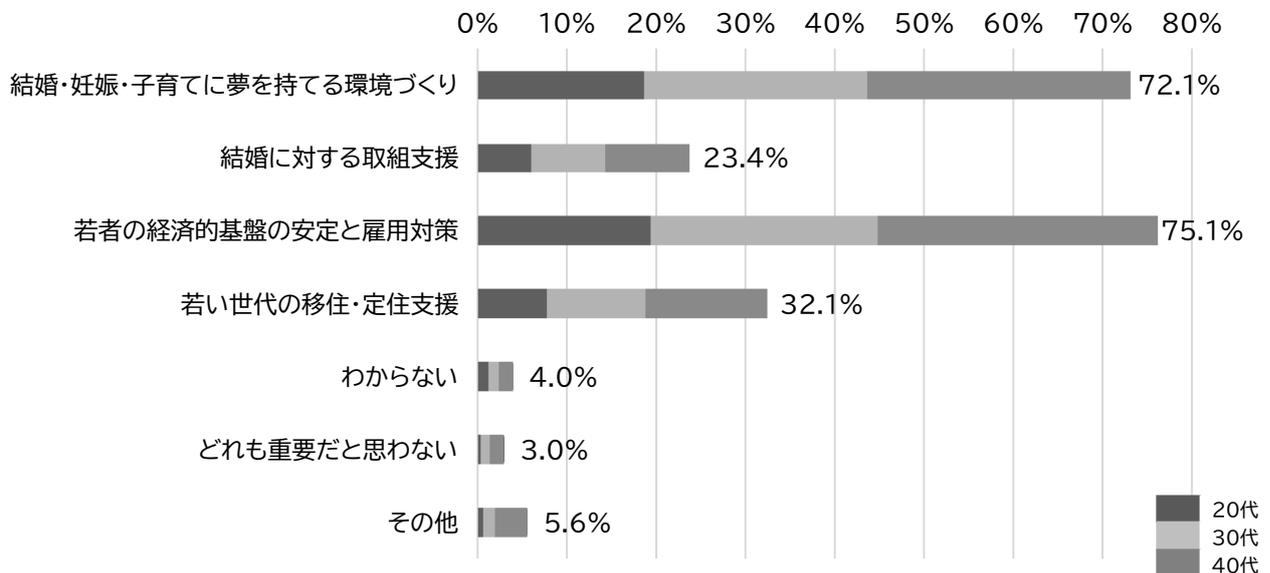
「ただちに問題を解決すべき重要な問題だと思う」が 46.4%と最も多く、次いで「重要な問題であるが、致し方ないことだと思う」が 28.8%、「できるだけ解決すべき重要な問題だと思う」が 22.1%となっています。



問31 次の少子化対策のうち、若い世代への取組について、あなたが重要だと思う取組を教えてください。

(選択はいくつでも)

「若者の経済的基盤の安定と雇用対策」が 75.1%と最も多く、次いで「結婚・妊娠・子育てに夢を持てる環境づくり」が 72.1%、「若い世代の移住・定住支援」が 32.1%となっています。

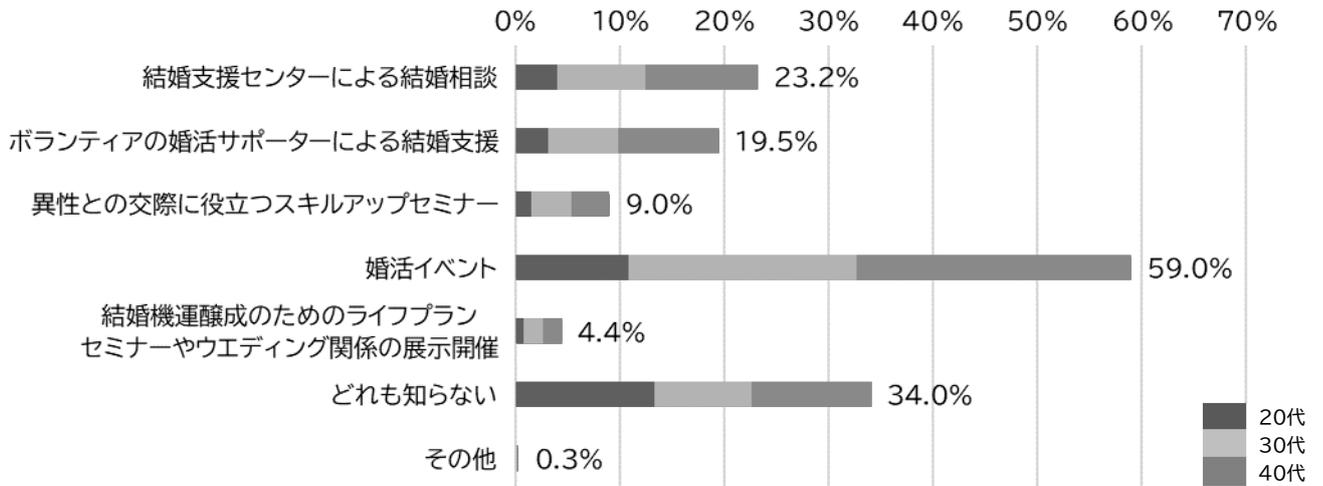


●その他

就業支援、賃上げ、減税、経済的支援、産休育休を安心してとれる体制づくり、不妊治療への支援
 不妊治療の職場の理解、無痛分娩の推進、小児科の充実、学校の増、就職先の増、学用品の貸出
 子育て家庭への支援、病時保育拡大・充実、学童保育の拡大・充実、四万十市の良い所の PR
 四万十市に住んでよかったと思えるような街作り、出産・子育ての意味と方法への教育
 産みたい人が安心して産める社会、政権の交代、高齢者支援を若者支援に、子育てしやすい政策
 他の行政が驚くような事をしてほしい、結婚したい・子どもがほしいと思える心を育てる
 今子育てしている家庭がさらに産み育てたいとおもう支援、結婚=子育てにはならない
 若者がこの地域に残って結婚し子育てしていける環境、政府に苦しい状態を分かってもらいたい
 外部から子どもをつれて移住してくる人口を増やす、結婚した夫婦のこどもの人数を増やすこと
 四万十市に住民票を残して市外で働く人もいる、公的支援や対策で対応できるとは思えない
 結婚・妊娠・子育てに関わらない将来に希望を持てる社会づくり、男性側に対する教育・意識改革
 人との輪を広げる取り組み、皆が皆仕事と結婚生活(子育て)を両立できるわけではない

問32 少子化対策として四万十市が実施している事業のうち、知っている事業を教えてください。(選択はいくつでも)

「婚活イベント」が 59.0%と最も多く、次いで「どれも知らない」が 34.0%、「結婚支援センターによる結婚相談」が 23.2%となっています。

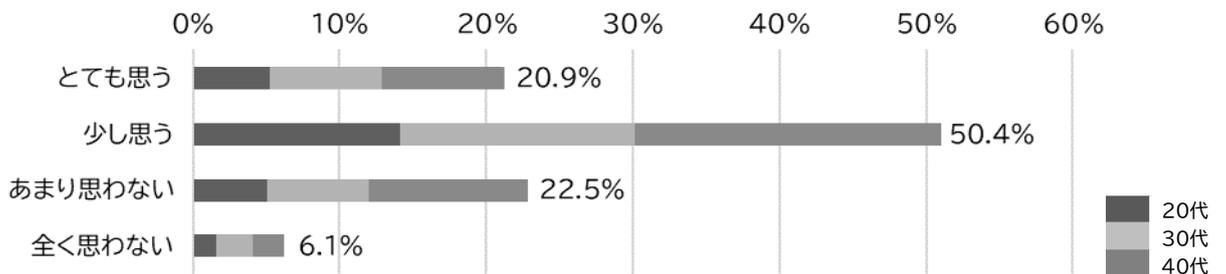


●その他

抜本的な解決に繋がることをしてほしい、気軽に携帯のできるマッチングアプリのようなもの

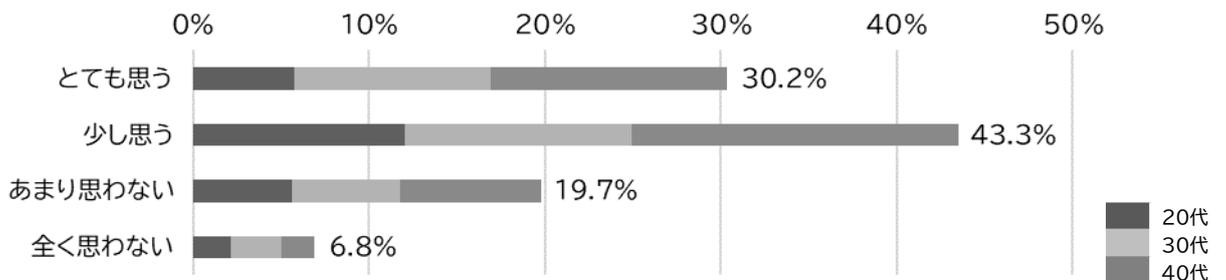
問33 あなたは四万十市を住みやすい街だと思いますか。(選択は1つ)

「少し思う」が 50.4%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 22.5%、「とても思う」が 20.9%となっています。



問34 あなたは将来も四万十市で生活したいと思いますか。(選択は1つ)

「少し思う」が 43.3%と最も多く、次いで「とても思う」が 30.2%、「あまり思わない」が 19.7%となっています。



問35 四万十市の若者支援、少子化対策の取組へのご意見や要望があればお願いします。四万十市の好きなところや、これまでの楽しい思い出や嬉しかったことなども、ぜひお聞かせください。

就業		57	
雇用の安定	1	こどもがいると産前と同じようには働けず給料が下がる	1
早急に直すべきは働き方	1	低賃金の改善	3
就職に関する情報の増	2	生活基盤を盤石に	1
就職先の増	7	働きたいと思える場所の増	2
雇用体制の改善	4	夫婦で正職員として働いても贅沢な暮らしが出来ない	2
安定して働ける環境	1	魅力ある企業の育成	2
雇用条件が全国平均からかけ離れている現状の改善	1	若者が「働きたい」と思う企業を誘致	5
手取り増	7	若者へまともな仕事を斡旋する	1
物価の上昇に合わせた賃金の増額	1	若者が市外へ出て行かないための就労支援	4
働く場と住居がセットの取り組み	1	会計年度職員の産休・育休の情報がほしい	1
福祉系の賃金アップ	1	自営業にも産休育休制度がほしい	1
住居付き仕事の増	1	優秀な人材が外へ出て行って帰ってこない	1
仕事の選択肢の増	1	産業がない	1
昇給と共に引かれものも上昇するため手取りは変わらない	1	幅多は若者が遊べる場所が少ない為、我が子を幅多で働かせるのは反対	1
金銭的な支援も大事だと思うが、何でも無料にするよりも親が子どもと過ごす時間を確保出来るような就労支援の方が大切だと思う	1	雇用を生み出している法人を四万十市が応援し、雇用を守る支援をするべき	1
支援制度		64	
若者への支援の増	1	多子世帯への支援	3
若者への経済的支援の増	2	育児に対して支援の増	1
子育て支援が充実している	1	時代のニーズに合わせた支援	1
子育て支援の増	2	駐車場にこども連れ専用エリアの確保	2
出産・子育てに意欲的になる政策	2	育児の補助金や制度の情報の定期的な発信	1
金銭的な支援	3	子どもと参加出来るイベント情報の発信	1
所得に限定のない経済的支援	8	幅多郡の中で支援が少なく、遅い	1
非課税世帯への給付金の増	1	私達が高齢になった時、どうしたら良いか困る	1
ひとり親家庭支援の増	1	子育て支援の施策が隣の黒潮町と比べて劣る	1
これからこどもが生まれてくる家庭への支援	1	若者支援と少子化対策は別ものとして考えるべき	1
子育て世帯への支援の増	10	市独自の支援策	1
こどもへの支援の増	2	様々な支援があり、助かっている	1
30代までは住民税を免除	1	全世帯への支援	1
子どもへの支援がたくさんあることへの感謝	1	資金援助してくれる所を教えて欲しい	1
若者のひきこもりに対する支援	1	共働きではなく夫婦で安心して子育てができる環境作り	1
家庭や学校など教育する立場の人からのアプローチの増	1	経済的支援があると子どもがほしいと思った時の不安が減る	1
若年層の子どもを持ちたいという希望(特に「0人から1人にする」「1人から2人にする」)支援の拡充	2	何が必要でどんな申請が必要か等、気軽に相談できる場が欲しい	1
年配者や、上の世代の人が若者を見守り励まし支える気持ち伝わる支援	1	市民の声に耳を傾けて、自分事として考えてくれると、自ずと意味のある支援になると思う	1
何でも無償化にすると、やってもらって当たり前のような意識が強くなると思うので、無償化にする場合は、内容の吟味が必要だと感じる	1	仕事ができるのに、生活保護を申請していたり、不正な受け取りをしているように思える世帯があるのは納得がいかない	1

保育施設・学校			59
保育料の無償化	10	教育に対して支援の増	3
保育料の無償化への感謝	1	給食費の無償化・減額	5
保育料の減額	2	入学にかかる費用の支援	2
保育士の増員	1	教員風土の改善	1
保育士の待遇改善	1	通学バスの増	1
通園バスの増	1	小学校中学校のPTAの廃止	1
0歳児の入所の容易化	2	進学に応じて必要な物品購入の支援	1
給食費の無償化への感謝	1	Uターンする人限定の奨学金の増	1
保育園の行事が素晴らしかった	1	中学生があいさつしてくれた	1
保育料が無料だからと子どもは増えない	1	中学校の取り組みがアナログな印象を受ける	1
病児保育の実施	2	学校行事への不満	1
保育所に看護師の配置	1	市内や通学圏内に専門学校や大学等の誘致	4
学童期の支援が少ない	1	学童の開設時間の拡充	2
学校給食への感謝	1	卒業生のお古等を低価格で購入出来る制度	1
教育費の無償化	1	進路の選択肢の増	1
教育(家庭教育)に力を入れたほうが良いと思う	1	専門的な勉強をしたければどうしても外に出ないといけない	1
地域でしか受け入れられない小さい学級の学校もどこか一つ残すべき	1	自分の子どもの将来を考え、中学、高校進学時に合わせて、高知市内への転居も考えている このような部分も間接的に少子化につながるかと考える	1
家庭訪問がなくなったこと 教員の働き方改革であると思うが、学校側が生徒の家を知らないことはどうかと思うが、今の時代背景かなとも考える	1	学校に行きづらい若者などのフリースクールがあれば、自然環境に身を置いて働きたい外からの雇用や都会からの家族などの移住促進にもつながる可能性もあるのではないかと	1
産前産後			21
出産祝い品の給付	3	産後ケアの充実	2
おむつ、おむつ券の給付	4	宿泊型産後ケア施設の新設	1
ミルクへの助成	1	おむつ替えスペースの増	1
育休中の経済支援	1	チャイルドシートの貸出	1
子育て支援センターへの感謝	4	チャイルドシートの購入補助	1
子どもが生まれた時には給付金などや母子サービスが充実してきたと思う	1	若い人たちが子どもが可愛い！欲しい！と思ったり、楽しんで自分で子育て出来る環境になればいいと思う	1
病院			24
医療費の無償化への感謝	3	専門的なクリニックが少ない	1
病院の増	1	高校生まで医療費の助成もっと早くできなかったのか	1
産婦人科の新設	3	医療体制が整っていない	2
小児科の増	7	医療機関のレベル改善	1
小児科の整備を早くして欲しかった	1	診てもらいたい病院が無い	1
看護師の増	1	医療ケア児に対してのフォローがとても少ない	1
市民病院のところに出来るまでにも、どこかの病院に小児科を特設するなど何か対応策を考えてほしい	1	子どもの医療費が無料なのはとても良いが、そのために対象となる治療をしようとしていない(ずっと通院させるのが目的)な病院があり、とても辛い折角の医療費無料の意味が全くない	1

不妊治療			4
不妊治療に対する補助金の給付	1	交通費も出るようにしてもらいたい	1
不妊治療のできる施設の新設	1	不妊治療の助成の拡充	1

結婚			24
結婚祝い金の給付	1	少子化対策として婚活を支援するのは無駄	1
結婚式補助金の給付	1	結婚への出会い支援の増	1
結婚祝い品のカタログギフト	1	『婚活』とつくつと、イベントに参加しにくい人もいるかも	1
実家暮らしの人を早く結婚させる取り組み	1	他市と共同で交流イベントの実施	1
マッチングアプリ等が普及している昨今、婚活イベントを市の取り組みとして行う必要性には疑問を感じる	1	縁があればいずれはしたいが、今はまだ自分の好きなことや友人達との時間のほうが楽しい	1
四万十市の自然環境と合わせた婚活イベントなどあればPRに繋がるのではないかと	1	結婚支援が市民一人一人が尊重される事業であることを望む	1
就職しているが実家暮らしの人を早く結婚させる取り組み等、今までとは違うアプローチの事業展開の実施	1	結婚前に人数がたりないからと街コンに誘われたが、とても楽しかった	1
市が行っている婚活事業の目的(目標)が少子化対策になっていることに違和感がある	1	婚活が少子化対策の一貫となっていると、結婚=子どもを授かるべきと公的機関が押し付けているように感じる	1
同じ市内での婚活イベントは知り合いなどが多い為参加しづらい	1	子どもを授かりたいか、授かれるかは家庭によって異なり夫婦で選択すべきである	1
若者はプライベートが充実してるから結婚に魅力がないのではないかと	1	結婚支援センターの場所が国道から丸見えで利用しにくいのではないかと	1
インターネット、マッチングアプリは便利過ぎるため、現在の婚姻率となっていると考えているため、実際に複数人で会う機会を設ける事こそが大切だと思う	1	LGBTQなど多様化した生き方や、未成年も含めた若者世代の価値観の変化によるものも大きいと思う	1
例えば夫婦になれば200万支給(条件あり)、1子が出産で100万を分けて支給、3子出産で住民税やライフラインにかかる費用を負担(条件あり)、そうすればSNSで拡散され魅力ある市政だと評価されると思う	1	結婚支援センターの対応スタッフ達がプライバシーをきちんと守っているのか？親身になってくれているのか不安がある	1

遊び場			28
公園の遊具が新しい	1	遊び場が充実している	2
公園遊具リニューアルへの感謝	2	子どもが遊べるような公園が街中にはない	1
公園が多いことへの感謝	2	若い世代が過ごせる遊び場がほしい	4
大きな子育てパークの新設	1	不破地区に公園の新設	1
親子が遊べる大きな公園の新設	1	東中筋方面に公園を作ってほしい	1
屋内遊戯施設の新設	9	公園の地面を芝生ではなく砂に	1
公園を利用している家庭のルールとマナーについては困ることがある	1	公園があっても今は遊具が置けないのか広場になっているだけ	1

障がい			4
障がい者が周りを気にせずいられる居場所の増	1	地域でしか受け入れられない発達障害の学校もどこか一つ残すべき	1
発達障害の診断、通院ができる病院が近くにないのが不便で困っている	1	発達障害の子どもを育てているのでサポートや相談をさせてもらって感謝している	1

その他			232
人があたたかい	7	若者がもっと活躍できるまちづくり	1
人がおおらか	1	家具家電付き住居・アパートの設置	3
人が少ない	1	子育て中の親子が参加できるイベントの充実	1
住みやすい	9	若者が住むには不便で楽しむ場所がない	2
平和なところがいいところ	1	色々な政策がされていると思う	1
子育てし易い環境である	3	将来に希望が持てるようなところになって欲しいと思う	1
田舎過ぎず都会でもなくて良い	2	子どもたちが交通事故に遭わない為の取り組み強化	1
そこそこ便利	1	未来永劫「子どもファースト」の政策を取ってほしい	1
安心感がある	1	子どもが健やかに過ごせる環境作り	1
食べ物がおいしい	4	地域の若者の意見を反映するまちづくりを	2
魚が美味しい	1	もっと先を見据えた大胆な政策	1
自然が豊か・すばらしい	18	もっと地域に子どもを残す取り組みを	1
のどかなところが好き	1	検討段階から市民や民間の力を借りてPRしては	1
居心地がいい	1	四万十市のHPの改善	1
美しい自然と豊かな文化が共存する素晴らしい場所	2	いいところのPR不足	2
様々なイベントがあり、楽しさも感じる	1	自然の保全維持	1
花火がいい・好き	3	屋根付き駐車場の増	1
四万十市が大好き・好き	3	過疎地域の水道の整備	1
四万十市での暮らしは概ね気に入っている	1	若いうちは都会で生活したい人が多いと思う	1
手ごろに欲しいものがぎゅっと詰まった街	1	ずっと住みたいと思えない	1
子どもたちも可愛らしい	1	生活しやすいとは思えない	1
これからも住み続けたい	1	こんな国では少子化は止まらないと思う	1
商店街の活性化	1	いい場所だが、不便性は否めない	1
飲食店がすごく元気	1	市の建物を市民が活用出来るように援助してほしい	1
店が多い	1	増税は早いのに減税は遅い	1
飲食店の増	2	備蓄米が遅い	1
カフェや雑貨、服屋などの誘致	2	南海トラフ大地震が不安	1
子ども服店の増	1	税、社会保険、年金の支払いが多すぎる	2
若者への対応の増	1	政治に無関心な人が多い	2
若者がチャレンジできる環境づくり	1	今の社会は結婚や出産ができる環境にない	1
文化施設の拡充(映画館、お茶が出来る本屋など)	1	交通の便の改善	9
市役所への感謝	1	ガソリンが高い	6
子育て支援課への感謝	1	老後が不安	1
子育て支援団体がたくさんあり子育てしやすい	1	四万十市の好きなどない	1
図書館の立地が素晴らしい	1	四万十市に魅力がない	2
市役所の駐車場が夜間(土)(日)解放されているのがよい	1	近くに頼れる親類等がない子育て世帯が特に苦しそう	1
(水)19時まで開庁しているのがよい	1	家賃が高い	2
地元の人々の温かいおもてなしが大好き	1	市への不満	6
地域の祭りでの活気ある雰囲気が大好き	1	市の予算や税金の用途に対する不満	7
渋滞や順番待ちが少なくて良い	2	市長への不満	4

Uターンしたくなる取組み	4	次期市長への期待	1
移住者としては子育てはかなりしやすい地域	1	若いリーダー	1
雰囲気が好きで子育てするなと思って移住した	1	市役所に休日受付窓口の設置	1
移住者を増やすための政策	3	アンケートへの不満	4
定住者を増やすための政策	2	アンケートへのアドバイス	2
なくす努力より増やす努力を	1	政策等への意見	2
20代以下の若者が希望が持てる社会に	1	若者の声を取り入れた行政運営に期待する	1
年配者と若者が協働できるイベントや居場所づくり	1	本当に悩んでいる人を見抜く力は必要	1
自然を生かした取組の増	1	特になし	2
移住をきっかけに地域の方々との交流が生まれ、孤独感も薄れている	1	外国人観光客を対象とした文化交流イベントやワークショップを開催することで、地域の国際化を進めることができる	1
この町に戻ってきたい、温かさを感じられる町になっていくことを願っている	1	電気代が高騰している時に安並体育館は夜間営業をして税金がもったいない	1
自然豊かな環境をありがたく感じ、子どもたちにもたくさんさんの経験をさせてあげたい	1	地産地消ができるのであればそれを配給制にして定期的に補助したらいいのでは	1
自然の中で遊ぶことに関して、安全面に不安があるので市でフォローがあると嬉しい	1	ニーズが反映できれば、必然的に定住、外部への人口流出が防げるのではないかと	1
ジュニア弦楽の講座が音楽にふれたい子どもたちにとってすごい良い機会を用意されていると感じた	1	学校の統合など、生活する場の一極集中が起きていると感じる	1
気心知れた仲間が多いので、ずっとここで生活したいとおもう	1	市外に足を運ばなくても全ての書類等の手続きを出来るようにしてほしい	1
外国人コミュニティとの協力を通じて、地域の活性化に貢献できるプロジェクトを始める	1	サポートセンター的なものを何ヶ所も作るのではなく、働く子育て世帯が何を求めているかに耳を傾けるべき	1
四万十市の良さを残し、未来へ繋いでいくために、第一次産業に関わる公務員の副業の奨励をしてもらいたい	1	少子化問題は短期間の問題ではなく、長い目で見て解決しなくてはならない	1
若い世代が都会へ移住してしまい、高齢者世帯しか地元に残っていない	1	地域性や県民性、離婚率の高さ、将来が見えないことが多く他者と関わっても信頼しにくい	1
こにいてもいいんだ、ここで新しい家族と過ごしたいと感じられる人と人とのつながりを大切にしたい	1	市議会等で若者のためなど口にするが、具体的に何が変わったのか分からない	1
継続的に安定した生活、希望を満たせる未来を見せることが若者への真の支援では	1	現在の物価高騰により、今後の生活に掛かる費用に不安を感じる	1
元気なうちはとても住みやすいと思うが、老後はとても心配	1	本気で少子化対策に取り組む思いが四万十市にあるのか疑問に思う	1
若者が経済的にも物質的にも精神的にも充足した暮らしをできることが、四万十市への定住につながると思う	1	子どもが遊んだり学んだり興味があるようなことはなにもない街だと思ふ	1
まずは親が子どもにきちんと向き合うという当たり前のことが当たり前のできる環境を作り	1	特に人口減少・少子化は対策していかなければならないと思う	1
田舎でありながら都会化も上手に取り入れれないと、若者には目を向けてもらえないと思う	1	全国的な何に対してもハラスメントという風潮を跳ね飛ばして地方ならではの自由さをアピールしてほしい	1
イベントは多くあるが、市外や県外からの外貨を稼ぐことにはつながっていない	1	多様性が最も尊重される世の中なので難しいかもだが、もっとストレートに結婚や子育ての素晴らしさを発信してほしい	1

しまんとびあは、とても良い施設ができたと思う。子どもらが意欲的に勉強しに行っていたり、様々な文化に触れる事ができ、嬉しい	1	婚活に力を入れても、経済的に不安定であれば、まずパートナーを支えられないのでは？その後子どもを育てられないのでは？との不安が先立ってしまうと思う	1
田舎でありながら通信などのインフラや緑などの自然、色々なものの入手性(ECサイトなど)が良くも悪くもバランスがとれていると思う	1	移住など他地域との奪い合いよりも、今いる人を流出させず域内のサービス業を含めた産業の担い手になって貰うことにコストを割くほうが賢明だと思う	1
公園や子連れで行ける場所が多く、とても住みやすい家庭の都合で四万十市を出るが、ここで子育てしたいと思っていた	1	人口減少で影響が大きいと思うのは、現役世代の減少→就労場所の減少→買い物、病院など日常生活のサービスを受けられる場所の減少だと思う	1
子育て支援はいろいろあるが、活用に至っていないけれど困っていない訳ではない家庭もあるので、より充実した支援となるよう更に取り組んでほしい	1	少子化対策は、早期実現しないと切に願っている人の子どもはすぐに成長してしまう、いくら思いをぶつけても実現が5年10年先だと思うと諦めて声に出さなくなる、まずは行動してみて改善を繰り返してほしい	1

四万十市の若者支援に関するニーズ調査

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、**あなた**のことについてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢の中からお選びいただく場合と、数字等をご記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。また「その他」をお選びいただいた場合は、具体的な内容をご記入ください。

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つ)

・中村 ・東山 ・具同 ・東中筋 ・中筋 ・八束 ・下田 ・藤岡 ・後川 ・大川筋 ・富山 ・西土佐 ・四万十市外

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

・20歳～24歳 ・25歳～29歳 ・30歳～34歳 ・35歳～39歳 ・40歳～44歳 ・45歳～49歳

問3 あなたの性別をお答えください。(1つ)

・男 ・女 ・その他

問4 あなたと同居している方をお答えください。(いくつでも)

・父 ・母 ・兄弟姉妹 ・祖父母 ・あなたの配偶者、パートナー ・あなたの子 ・その他の親族 ・同居はいない ・その他

問5 あなたの家の生計を支えているのは主にどなたですか。仕送りで生計を立てている方はその仕送りをしてきている人をお答えください。(いくつでも)

・自分 ・父 ・母 ・あなたの配偶者、パートナー ・兄弟姉妹 ・あなたの子 ・わからない、答えられない ・その他

問6 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(1つ)

・就業、事業による収入 ・預金やその利息、財産からの収入 ・年金 ・生活保護 ・わからない・答えられない ・その他

問7 あなたの暮らしは、世間一般と比べてどれにあたると思いますか。あなたの実感でお答えください。(1つ)

・上 ・中の上 ・中の中 ・中の下 ・下 ・その他

問8 あなたの最終学歴はどこですか。在学中の方は現在在学の学校をお答えください。(1つ)

・中学校 ・高校 ・専修学校、専門学校 ・高等専門学校、短期大学 ・大学・大学院 ・その他

問9 あなたの就業経験についてお答えください。(パート・アルバイトも含む)(1つ)

・現在就業している ・現在就業しているが、休職や休業中 ・現在就業していないが、過去に就業経験がある
・これまでに就業経験がない

(問9で「現在就業している」「現在就業しているが、休職や休業中」と回答した方)

問9-1 あなたの仕事をお答えください。(1つ)

・パート、アルバイト ・派遣社員 ・契約社員、嘱託 ・正規の職員 ・会社役員 ・自営業、自由業 ・家族従業者、内職 ・その他

(問9で「現在就業していないが、過去に就業経験がある」「これまでに就業経験はない」と回答した方)

問9-2 あなたの仕事をお答えください。(1つ)

・学生、生徒 ・専業主婦、主夫 ・家事手伝い ・無職(仕事を探している) ・無職(仕事を探していない) ・その他

問9-3 あなたは今幸せだと思いますか。(1つ)

・そう思う ・どちらかといえば、そう思う ・どちらかといえば、そう思わない ・そう思わない

(問9-3で「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した方)

問9-3-1 あなたが今幸せだと思う理由を選んでください。(いくつでも)

・日常生活に満足している ・友人など人とのつながりがある ・趣味などいきがいがある ・家族関係が良好
・自由な時間がある ・心身の健康が保たれている ・人に必要、感謝されている ・経済的に困っていない
・仕事に満足している ・なんとなく ・その他

(問9-3で「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した方)

問9-3-2 あなたが今幸せだと思わない理由を選んでください。(いくつでも)

・日常生活に不満がある ・友人など人とのつながりが無い ・趣味などいきがいが無い ・家族関係が良くない
・自由な時間がない ・心身の健康に不調がある ・人に必要、感謝されていないと感じる ・経済的に困っている
・仕事に満足できない ・なんとなく ・その他

問10 あなた自身について、あてはまるものを選んでください。(いくつでも)

- ・自分らしさというものがある
- ・欲しいものをがまんすることが苦手
- ・今の自分を変えたい
- ・将来よりも今の生活を楽しみたい
- ・努力すれば希望する職種につくことができる
- ・自分の将来は運やチャンスによって決まる
- ・人生で起こることは、結局は自分に原因がある
- ・他人に迷惑がかからない限り、どんな考えやどんな行動をとろうが、自分の自由だ
- ・今の自分が好きだ
- ・自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ
- ・自分の親から愛されていると思う
- ・うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む
- ・自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
- ・自分自身に満足している
- ・自分は役に立たないと強く感じる

問11 あなたは孤独であると感じることがありますか。(1つ)

- ・全くない
- ・ほとんどない
- ・たまにある
- ・時々ある
- ・常にある

問12 あなたは【居場所】と聞いて、どの様な場所をイメージしますか。(いくつでも)

- ・いつでも行きたい時に行ける
- ・一人で何もせずのんびりいられる
- ・自分を否定されない
- ・好きなことをして自由に過ごせる
- ・あたらしいことを学べたりチャレンジできる
- ・悩みの相談に乗ってくれる人がいる
- ・一緒に遊んでくれる人がいる
- ・色々な人と出会える
- ・友人と一緒に過ごせる
- ・その他

問13 あなたは「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(1つ)

- ・ある
- ・ない

(問13で「ある」と回答した方)

問13-1 あなたにとっての居場所はどこですか。(いくつでも)

- ・自分の部屋
- ・家庭
- ・友だちの家
- ・学校、母校
- ・職場
- ・地域の施設(図書館、文化ホールなど)
- ・地域のお店
- ・習い事の場所
- ・趣味の場所
- ・インターネット空間
- ・その他

問14 あなたが日常で会話やメール(LINE・DMを含む)している相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問15 あなたがなんでも悩みを相談できる相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問16 あなたが楽しく話せる相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問17 あなたが困った時に助けてくれる相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問18 あなたが他の人には言えない本音を話せる相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問19 あなたが繋がりを感じている相手は誰ですか。(いくつでも)

- ・家族、親族
- ・友人
- ・職場の人
- ・地域の人
- ・SNS やインターネット上の知り合い
- ・いない
- ・その他

問20 あなたは他の人と付き合う時、次のようなことがあてはまりますか。(いくつでも)

- ・誰とでもすぐに仲良くなれる
- ・表情やしぐさで相手の思っていることがわかる
- ・親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る
- ・その場に合った行動がとれる
- ・表情が豊かである
- ・気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう
- ・人にぶつかっても、あやまらないことがある
- ・その他

問21 あなたは社会のために役立つことをしたいと思いますか。(1つ)

- ・そう思う
- ・どちらかといえば、そう思う
- ・どちらかといえば、そう思わない
- ・そう思わない

問22 あなたは自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つ)

- ・そう思う
- ・どちらかといえば、そう思う
- ・どちらかといえば、そう思わない
- ・そう思わない

問23 あなたは普段どのくらい外出しますか現在のことについて最も当てはまることをお答えください。(1つ)

- ・仕事や学校で平日は毎日外出する
- ・仕事や学校で週に3~4日外出する
- ・遊びなどでよく外に出かける
- ・人づきあいのためにときどき外に出かける
- ・普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- ・普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- ・自室からは出るが、家からは出ない
- ・自室からほとんどでない

(問23で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のとときだけ外出する」「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と回答した方)

問23-1 あなたは外出状況が今ようになってから、どのくらいたちますか。(1つ)

- ・3か月未満
- ・3か月～6か月未満
- ・6か月～1年未満
- ・1年～2年未満
- ・2年～3年未満
- ・3年～5年未満
- ・5年～7年未満
- ・7年～10年未満
- ・10年～15年未満
- ・15年～30年未満

問23-2 あなたの外出状況が現在の状況になった主な理由は何ですか。(いくつでも)

- ・学校になじめなかったこと
- ・小学校時代の不登校
- ・中学校時代の不登校
- ・高校時代の不登校
- ・大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校
- ・受験に失敗したこと(高校、大学等)
- ・就職活動がうまくいかなかったこと
- ・人間関係がうまくいかなかったこと
- ・病気
- ・妊娠したこと
- ・退職したこと
- ・介護、看護を担うようになったこと
- ・新型コロナウイルスが流行したこと
- ・理由はない、わからない
- ・その他

問23-3 最近6か月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(1つ)

- ・よく会話をした
- ・ときどき会話をした
- ・ほとんど会話をしなかった
- ・全く会話をしなかった

問24 あなた今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかつた状態が改善した経験がありましたか。(1つ)

- ・経験あり
- ・経験なし
- ・わからない、答えられない

(問24で「ある」と回答した方)

問24-1 社会生活で日常生活を円滑に送ることができなかつた要因として何があると思いますか。(いくつでも)

- ・人づきあいが苦手
- ・精神的な病気
- ・身体的な病気、ケガ
- ・何事も否定的に考えてしまう
- ・悩みや不安などが相談できない
- ・家族内での不和や孤立
- ・親(保護者)の過度な期待、過干渉
- ・親(保護者)の厳しいしつけ、虐待
- ・経済的に厳しい
- ・看護、介護が大変
- ・勉強が苦手、受験に失敗
- ・空気をを読むのが苦手
- ・職場になじめない、業務量が自分の能力を超えている
- ・いじめ、ハラスメントを受けた
- ・理由はない、わからない
- ・その他

問24-2 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状況が、改善した経験がありましたか。(1つ)

- ・ある
- ・ない

(問24-2で「ある」と回答した方)

問24-2-1 状況が改善したきっかけや改善に役立ったことは何ですか。(いくつでも)

- ・家族や親戚の助け
- ・友人の助け
- ・学校の先生に相談したこと
- ・スクールカウンセラーなど専門家に相談したこと
- ・地域の人の助け
- ・病院に行って相談したこと
- ・相談できる場所に行って相談したこと
- ・電話相談を利用したこと
- ・SNS やメール相談などを利用したこと
- ・同じ経験をした人に話してみたこと
- ・就職、転職したこと
- ・趣味の活動に参加したこと
- ・時間がたって状況が変化したこと
- ・自分の努力で乗り越えたこと
- ・理由はない、わからない
- ・その他

問25 あなたが社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった場合、誰かに相談したいと思いますか。(1つ)

- ・相談したい
- ・相談したくない

(問25で「相談したい」と回答した方)

問25-1 家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所が良いですか。(いくつでも)

- ・相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある
- ・相手が同世代である
- ・相手が同性である
- ・匿名で相談できる
- ・電話で相談できる
- ・SNS やメールなどで相談できる
- ・曜日・時間帯を気にせずに相談できる
- ・相談できる場所が自宅から近い
- ・相手が自宅に来てくれる
- ・無料で相談できる
- ・相手先が公的な支援機関である
- ・相手先が民間の支援団体(NPO など)である
- ・相手が医師である
- ・相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
- ・その他

(問25で「相談したくない」と回答した方)

問25-2 相談したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- ・相談しても解決できないと思うから
- ・自分ひとりで解決するべきだと思うから
- ・誰にも知られたくないことだから
- ・自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
- ・自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
- ・相手がどんな人かわからないから
- ・何を聞かれるか不安に思うから
- ・嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
- ・相手にうまく伝えられないから
- ・裏切られたり、失望するのが嫌だから
- ・お金がかかると思うから
- ・その他

問26 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(いくつでも)

- ・精神保健福祉センター(高知県立精神保健福祉センター) ・ひきこもり地域支援センター(高知県立精神保健福祉センター)
- ・COMPASS 発達支援センターしまんと ・子ども家庭総合支援拠点 ・子育て世帯包括支援センター(ベビはぐ)
- ・地域子育て支援センター(ぼっぼ) ・幡多児童相談所 ・教育支援センター
- ・ハローワークしまんと、ジョブカフェこうちサテライト、はた若者サポートステーションなどの就労支援機関 ・児童館
- ・ふれあい学級 ・通信制高校、通信制サポート校 ・青少年センターや青少年の家など、若者の自主的な活動を支援する施設
- ・その他民間の機関(自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援などをおこなう NPO など) ・どれも知らない
- ・その他

問27 あなたは子ども・若者を対象とした育成支援機関等の利用したことがありますか。(1つ)

- ・ある ・ない

問28 あなたは子ども・若者を対象とした育成支援機関等を利用しようと思いますか。(1つ)

- ・利用したいと思う ・どちらかといえば利用したいと思う ・どちらかといえば利用したいと思わない ・利用したいと思わない

問29 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には婚姻の届出はしていないが事実上の婚姻と同様の状態にある方を含みます。(1つ)

- ・未婚 ・配偶者あり ・配偶者と死別 ・配偶者と離別(離婚)

(問29で「未婚」と回答した方)

問29-1 あなたの結婚の意向について、最も当てはまるものをお答えください。(1つ)

- ・決まった相手がいて結婚の予定がある ・結婚の予定はないが結婚したい ・結婚したいと思わない(今後も独身でいたい)
- ・その他

(問29-1で「決まった相手がいて結婚の予定がある」と回答した方)

問29-1-1 結婚に関する行政の支援で、最もあなたの希望に近いものをお答えください。(1つ)

- ・結婚祝い金の支給 ・引っ越しやリフォームなどの新生活に使える補助金
- ・結婚式や披露宴、フォトウェディングに使える補助金 ・結婚よりも出産祝い金など、子どもに関する給付金
- ・特になし ・その他

(問29-1で「結婚の予定はないが結婚したい」と回答した方)

問29-1-2 あなたが結婚していない理由について教えてください。(いくつでも)

- ・結婚したいと思える相手がいない ・結婚資金がない ・家庭を持てるほどの収入がない ・まだ若いから急いでいない
- ・自由でいられるから ・結婚生活が大変そうだから ・仕事に打ち込みたい ・異性とうまくつきあえない
- ・出会いの機会、きっかけがない ・友人など周りが結婚していないから ・特に理由はない ・その他

問29-1-3 結婚に関する行政の支援で、あなたが希望するものをお答えください。(いくつでも)

- ・結婚祝い金の支給 ・婚活イベントなど出会いの場の提供 ・男女交際や結婚へのアドバイスなどのサポート
- ・出会いや結婚に関する相談窓口の充実
- ・コミュニケーションやファッション、料理など出会いや結婚につながるセミナーの実施
- ・地域全体で結婚を推奨する盛り上がり ・結婚希望者を登録して行う引き合わせ ・マッチングアプリの運営
- ・安定した収入を得られる雇用の場の創出 ・その他

(問29-1で「結婚したいと思わない(今後も独身でいたい)」と回答した方)

問29-1-4 あなたが結婚したいと思わない理由について教えてください。(いくつでも)

- ・収入がない ・自由でいたいから ・結婚生活が大変そうだから ・仕事に打ち込みたい ・異性とうまくつきあえない
- ・結婚に意味を見出せない ・特に理由はない ・その他

(問29で「配偶者あり」「配偶者と死別」「配偶者と離別(離婚)」と回答した方)

問29-2 あなたは何歳で結婚しましたか。(再婚している場合は初婚時の年齢)(1つ)

- ・19歳以下 ・20歳～24歳 ・25歳～29歳 ・30歳～34歳 ・35歳～39歳 ・40歳～44歳 ・45歳～50歳

問29-3 あなたの現在のこどもの人数を教えてください。(1つ)

- ・0人 ・1人 ・2人 ・3人 ・4人 ・5人 ・6人 ・7人以上

問29-4 あなたの理想的な(希望する)こどもの人数を教えてください。(1つ)

- ・0人 ・1人 ・2人 ・3人 ・4人 ・5人 ・6人 ・7人以上

問29-5 理想的なこどもの人数と現実のこどもの人数はどちらが多いですか。(1つ)

- ・理想的な人数が多い ・現実の人数が多い ・同じ

(問29-5で「理想的な人数が多い」と回答した方)

問29-5-1 こどもの人数について、理想の方が多く理由に当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

- ・パートナーの希望が自身の希望と異なっていたため
- ・金銭的な不安や問題によるため
- ・自身またはパートナーの年齢的な問題によるため
- ・産前、産後休暇や育児休業制度の取得が難しいため
- ・保育園の入園など、こどもの保育について不安があるため
- ・居住スペースが足りないため
- ・子育てや家事への負担が大きい
- ・祖父母等の親族の支援が期待できないため
- ・不妊・不育等によるため
- ・自身またはパートナーの病気のため
- ・行政の子育てサービス等に期待できないため
- ・仕事に差し支えるため
- ・これから希望を実現したいと考えている
- ・特に理由はない
- ・その他

問30 あなたは少子化問題をどのように捉えていますか。(1つ)

- ・ただちに問題を解決すべき重要な問題だと思う
- ・できるだけ解決すべき重要な問題だと思う
- ・重要な問題であるが、致し方ないことだと思う
- ・特に問題を感じない

問31 次の少子化対策のうち、若い世代への取組について、あなたが重要だと思う取組を教えてください。(いくつでも)

- ・結婚、妊娠、子育てに夢を持てる環境づくり
- ・結婚に対する取組支援
- ・若者の経済的基盤の安定と雇用対策
- ・若い世代の移住、定住支援
- ・わからない
- ・どれも重要だと思わない
- ・その他

問32 少子化対策として四万十市が実施している事業のうち、知っている事業を教えてください。(いくつでも)

- ・結婚支援センターによる結婚相談
- ・ボランティアの婚活サポーターによる結婚支援
- ・異性との交際に役立つスキルアップセミナー
- ・婚活イベント
- ・結婚機運醸成のためのライフプランセミナーやウエディング関係の展示開催
- ・どれも知らない
- ・その他

問33 あなたは四万十市を住みやすい街だと思いますか。(1つ)

- ・とても思う
- ・少し思う
- ・あまり思わない
- ・全く思わない

問34 あなたは将来も四万十市で生活したいと思いますか。(1つ)

- ・とても思う
- ・少し思う
- ・あまり思わない
- ・全く思わない

問35 四万十市の若者支援、少子化対策の取り組みへご意見やご要望があればお願いします。四万十市の好きなお店や、これまでの楽しい思い出や嬉しかったことなども、ぜひお聞かせください。(自由回答)

四万十市の若者支援に関する
ニーズ調査結果報告書

発行年月：令和7年12月

発行：四万十市

編集：四万十市 子育て支援課

住所：高知県四万十市中村大橋通 4-10

電話：0880-34-9007